Panasonic

DVD/VIDEO CD/CD プレーヤー

取扱説明書

品番 **DVD-RV35K**

このたびは、DVD/VIDEO CD/CD プレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

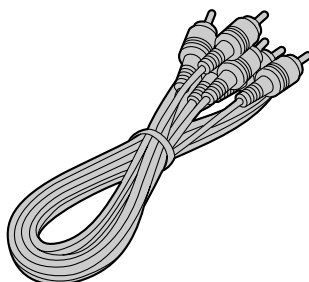
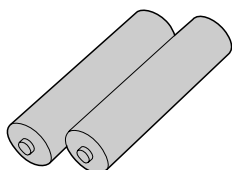
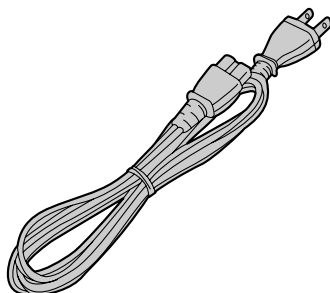
保証書別添付　上手に使って上手に節電

VQT8918

付属品のご確認

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
かっこ内の数字は買い替え時の品番を表します。

☐ **リモコン（1 個）**
（N2QAJB000009）

☐ **音声／映像コード（1 本）**
（VJA0788-D）

☐ **単 3 形乾電池（2 本）**

☐ **電源コード（1 本）**
（VJA0536）

お願い

付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

■本書では以下の記号を使用しています。
（DVD-Video を「DVD」、音楽 CD を「CD」と表記しています。）

DVD … DVD で楽しめる機能
VCD …ビデオ CD で楽しめる機能
CD … CD で楽しめる機能

もくじ

まず 準備しよう

すぐ 使ってみる

もっと 使いこなす

ホームシアター

もし 必要なとき

安全上のご注意 4
ディスクについて 6
リモコンの準備 7
テレビと接続する ／ テレビに合わせて設定する .... 8 〜 9

ディスクを再生する 10
- 再生を止める ／ 静止（一時停止）する 12
- 場面・曲を飛びこす ／ 早送り・早戻しする ／ スロー再生する ／ コマ送り・コマ戻しする ／ 場面・曲を番号指定で再生する 13
- メニュー画面に戻す 14

カラオケを楽しむ 15
- マイク（別売）を接続する ／ カラオケディスクの音声を切り換える（模範歌唱選択） 15
- カラオケ対応でないディスクでカラオケを楽しむ（ワンタッチカラオケ） ／ 伴奏の音程を調節する（キーコントロール） 16
- ガイドメロディーの音量を切り換える ／ 歌うときだけ歌手の声を消す（ボイスチェンジ） ／ 歌いたい曲を予約する（リクエスト） 17

順番を変えて再生する 18
- 好みの順に再生する（プログラム再生) ／ 順不同に再生する（ランダム再生） 19

映画・音楽ソフトをもっと楽しむ 20
- 映画鑑賞向けの画質にする（シネマポジション） ／2 本のスピーカーでサラウンド効果を楽しむ（V.S.S.） 20
- 音声を切り換える ／ 字幕言語を切り換える ／ アングルを切り換える 21

GUI 画面を使った便利な機能 27
- 映画のセリフを聞きやすくする（シネマボイスモード） ／もう一度再生したいところにマークをつける（マーカー）

繰り返し再生する 22
- 繰り返し再生する（リピート再生） ／ 好みの場所を繰り返し再生する（A-B リピート再生）

絵表示（GUI 画面）を使って操作する 23
- カラオケ GUI 画面の操作方法 23
- カラオケ GUI 画面の表示例 24
- GUI 画面の操作方法 25
- GUI 画面（ディスク情報画面）の表示例 26
- GUI 画面（本機情報画面）の表示例 ／ GUI 画面（シャトル画面）の表示例 27

初期設定一覧表 28
初期設定を変更する 29
- 設定方法 29
- ディスク言語 30
- 視聴制限 ／ 画面メニュー言語 31
- オンスクリーン ／ FL ディマー ／ エキスパート設定 32

より迫力ある音声で楽しむ／別売品のご紹介 34
ステレオ音響機器とアナログ接続する 35
音響機器とデジタル接続する 36
デジタル出力の設定をする 37

画面に映し出される映像の横縦比／著作権について 38
使用上のお願い・お手入れ 39
用語解説 40
Q & A（よくあるご質問） 41
故障かな!? 42
各部のなまえ 44
保証とアフターサービス 46
主な仕様 .... 裏表紙

準備

使いかた

ご参考

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

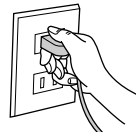
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

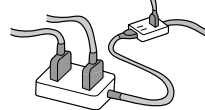
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、機器や電源プラグに触れない

- 感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

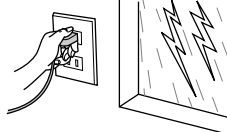
分解、改造をしない

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

不安定な場所に設置しない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **高い場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

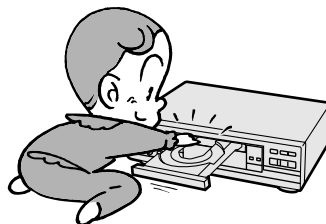
異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

ご使用について

ディスクトレイに指を入れ、挟まれないように注意する

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

乾電池について

電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使いかたをしない

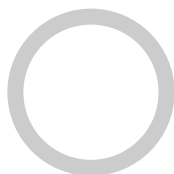
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **被覆のはがれた電池は使用しない**
- **乾電池の代用として充電式電池は使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ディスクについて

再生できるディスク

DVD-Video には発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた**リージョン番号**があります。本機の番号は**「2」**です。
本機は、**「2」**（または**「2」**を含むもの）と**「ALL」**が表示されたディスクの再生が可能です。
ディスクのジャケットもご参照ください。

例）

など

再生できないディスク

- CD-R、フォト CD**（絶対に再生しないでください。ディスクの内容が壊れる恐れがあります。）**
- リージョン番号**「2」「ALL」以外**の DVD
- PAL 方式で記録された DVD ／ビデオ CD
- DVD-ROM
- DVD-R
- DVD-RAM
- DVD-Audio
- DVD+RW
- DVD-RW
- CD-ROM
- CD-RW
- CDV
- CD-G
- CVD
- VSD
- SVCD
- SACD

など

また、ハート型など、特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
（機器の故障の原因となります。）

お知らせ

DVD、ビデオ CD のなかには、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないことがあります。
ディスクのジャケットなどもご参照ください。

リモコンの準備

ジャケット上のマークについて

下記は一例です

●音声数　**●字幕数**　**●アングル数**

(数字は記録されている音声／字幕／アングルの数を示す)

●画面サイズ（横：縦）

・4：3の標準サイズ

LB

・レターボックス
（4：3で上下に黒帯が入った画面）

16:9 LB

・16：9のワイドサイズ
標準サイズのテレビではレターボックスで再生される。

16:9 PS

・16：9のワイドサイズ
標準サイズのテレビでは、パン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生される。

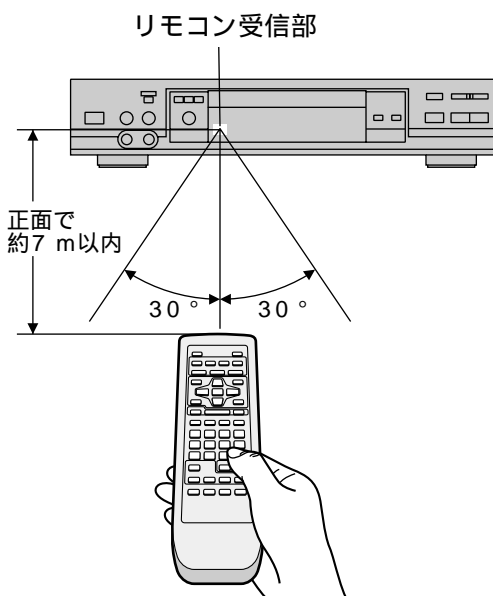
テレビに映し出される映像は、テレビの画面モード（☞38ページ）によっても異なります。

●記録信号

・ドルビーデジタルで記録された音声
本機では、このディスクを2チャンネルで楽しめます。

・DTSで記録された音声
DTSデコーダーを内蔵する機器（別売）と接続すると、DTSの音声が楽しめます。

乾電池（付属）を入れる

⊕⊖を確認！
(単3形)

リモコンの使用範囲

お願い

- 受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 他の機器のリモコンと同時に使わない。
- 受信部とリモコン先端のほこりに注意する。

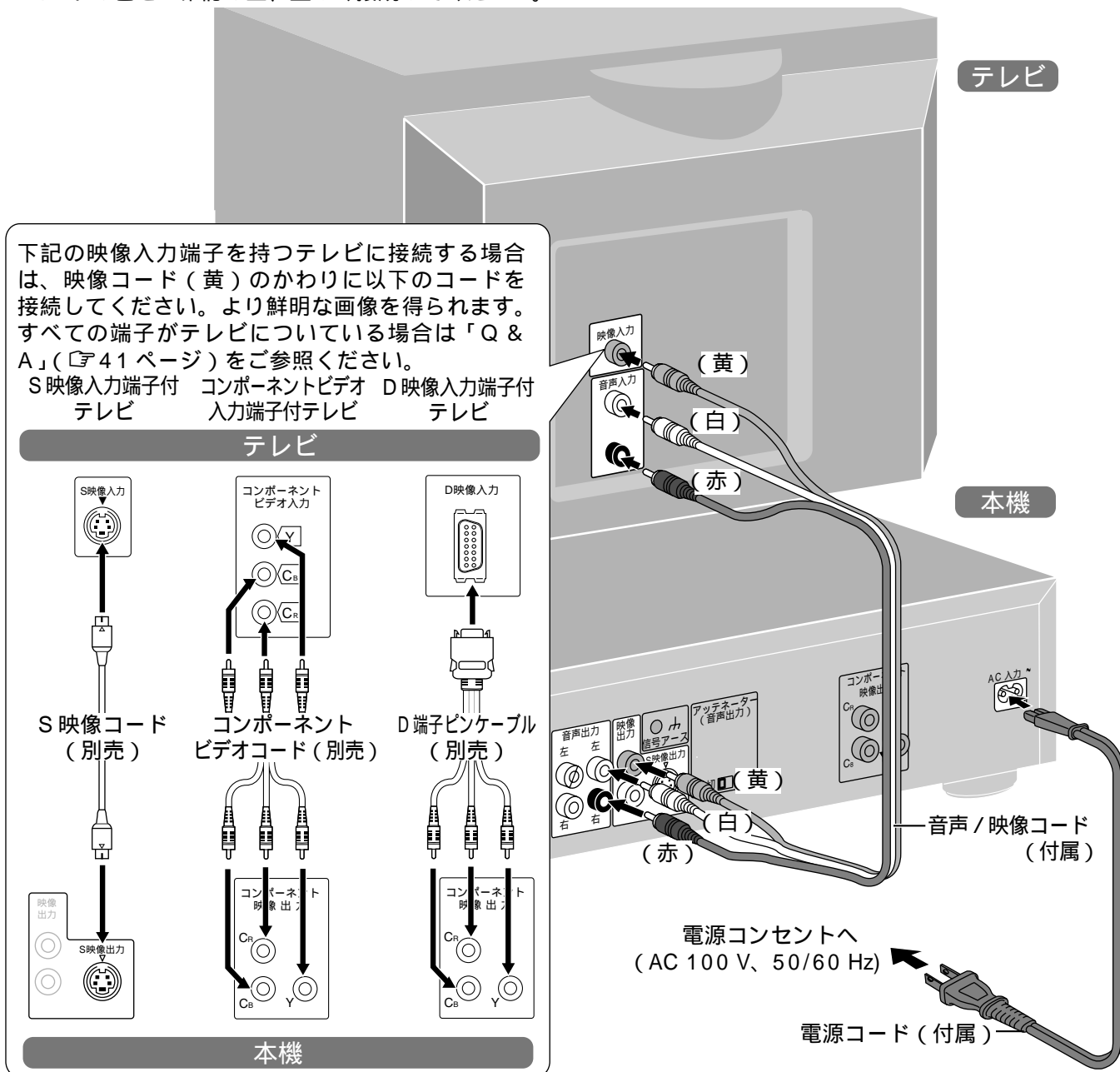
本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの使用範囲が短くなることがあります。

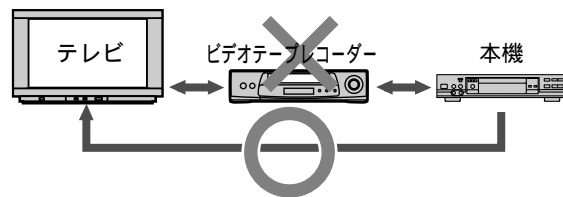
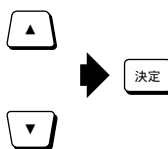
テレビと接続する

ここでは、テレビのスピーカーを使って音声を聞く場合の接続を説明しています。より迫力のある音声でお楽しみいただくときや、別売品については34ページをご参照ください。

お願い

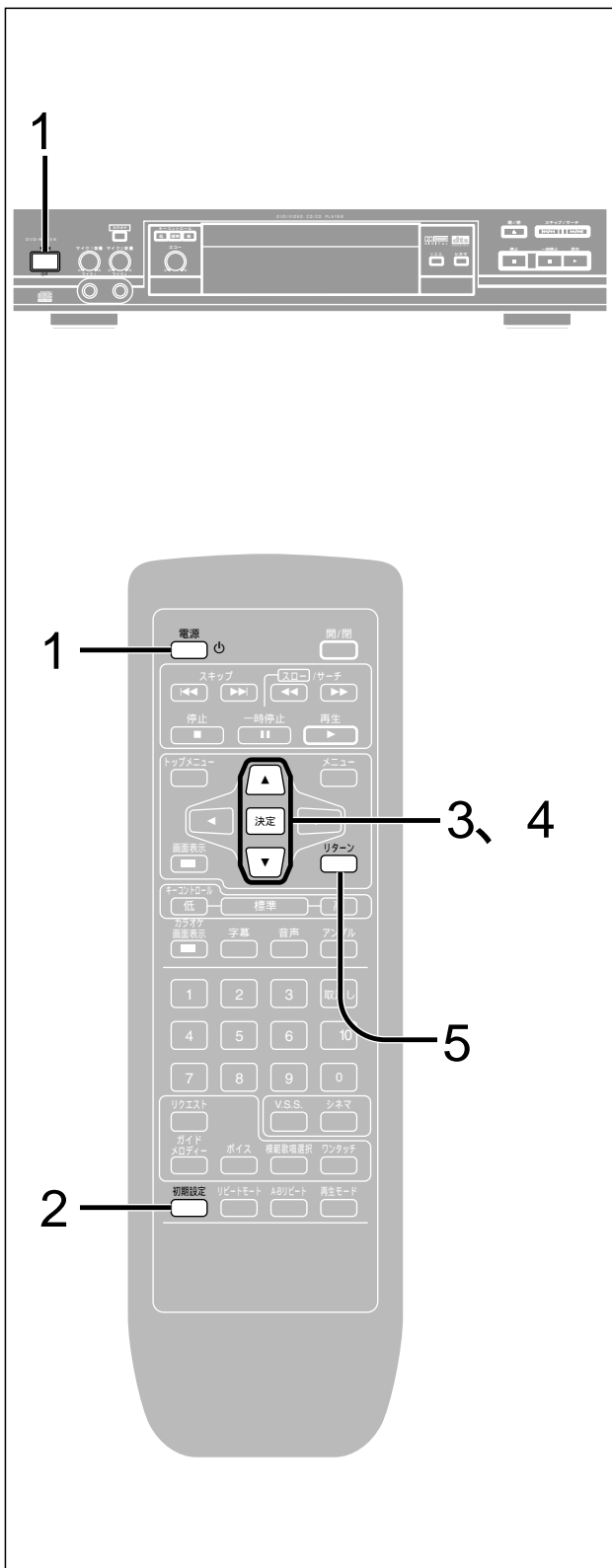
- 本機とテレビの電源を切ってください。またテレビの説明書もご参照ください。
- 本機をアンプなど高温になる機器の上に置かないでください。
- コードの色をご確認の上、正しく接続してください。

お願い

- 本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
  ビデオテープレコーダーやAVセレクター経由で接続すると、コピーガードの影響により、再生時に画面が乱れることがあります。
- 複数の映像入力端子が装備されたビデオ内蔵型テレビに接続するときには、テレビ側の入力端子に接続してください。
- DVDに対応していない**ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。**
  （映像方式が異なりますので、画面が乱れたり、映らないことがあります。）

テレビ　ビデオテープレコーダー　本機

テレビに合わせて設定する

出荷時の設定は、テレビ画面の横縦比が 4 ： 3（標準サイズのテレビ）になっています。4 ： 3 のテレビに接続した場合は、設定する必要はありません。

準 備

テレビの電源を入れて、外部入力を切り換える（「ビデオ 1」など）

1

押して

電源を入れる

2

押して

初期設定画面を表示する

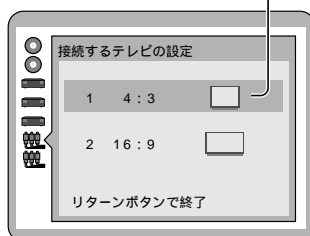
3

押して

“ 6　接続する TV ” を選ぶ

4

押して

テレビ画面の横縦比を選ぶ

- **4 ： 3**
  標準サイズのテレビ
- **16 ： 9**
  ワイドサイズのテレビ

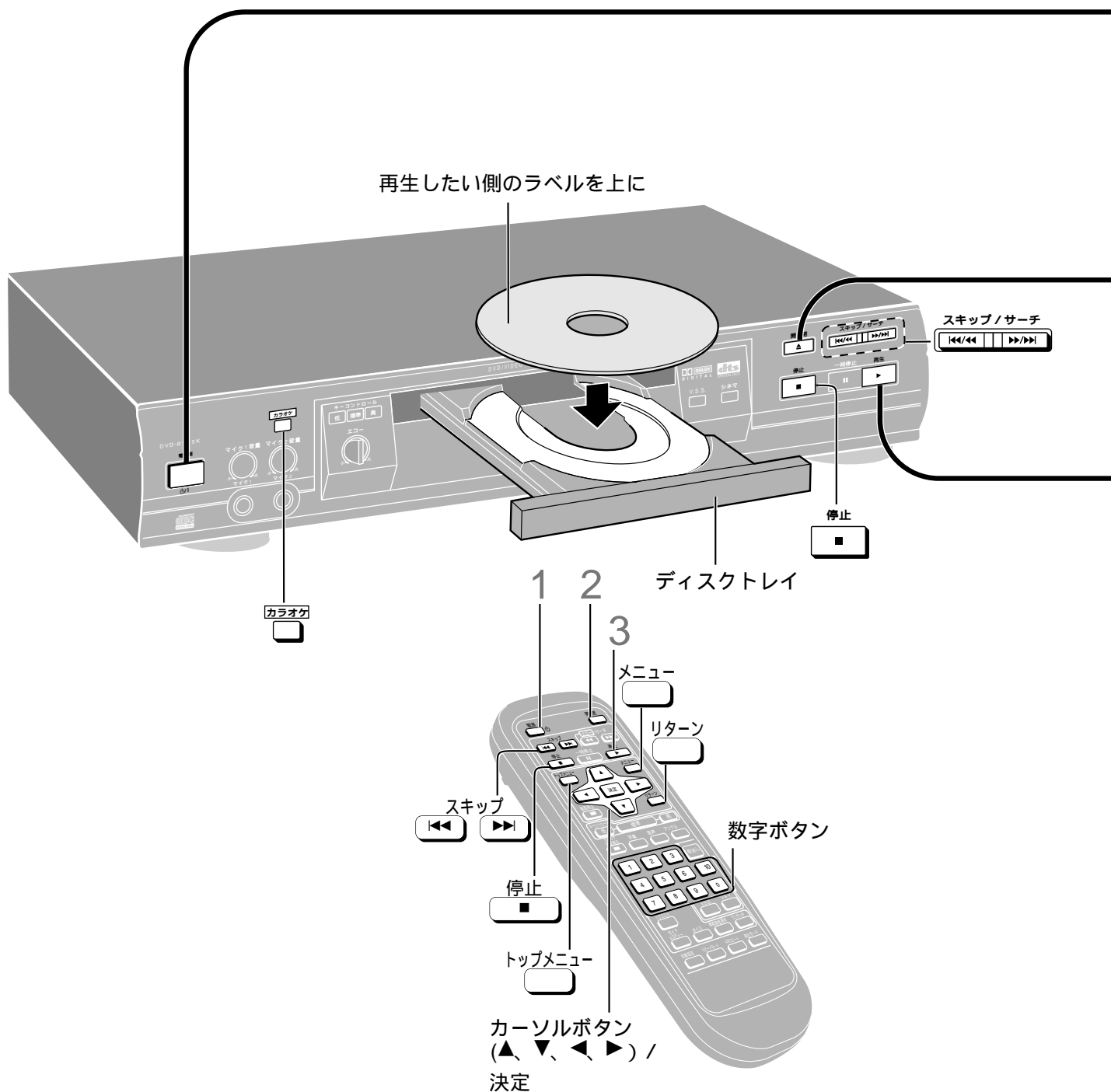
5

押して

設定を終了する

■ ひとつ前の画面に戻るには

[リターン]を押す

ディスクを再生する

■**長期間使用しないときは**

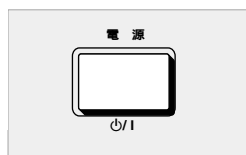
節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。本体やリモコンのボタンで電源を切った状態（スタンバイ状態）でも、約２Ｗの電力を消費しています。

■**“ ⃠ ”が表示されたときは**

ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。

お願い

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護とテレビ画面への画像の焼き付き等を防止するため、続けて再生しないときは**[停止]**を押してください。
- ＤＶＤ再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。**再生したときにテレビの音量を上げた場合は、**テレビ放送に切り換える前に**必ず元の音量に戻してください。**突然大きな音が出ることがあります。

1

押して
電源を入れる

[カラオケ]ボタンが点灯します。

■ **カラオケをしないときは**

押して
[カラオケ]ボタンを消灯させる

- 点灯していると、全体の音量が少し小さくなります。

2

押して
トレイを開け ディスクをおく

3

押して
再生を始める

トレイが閉まり、再生が始まります。
(「メニュー画面を表示したときは」☞ 下記)

表示窓（例： DVD の場合）

お知らせ

- **[開／閉]**、**[再生]**を押しても電源を入れることができます。すでにディスクが入っているときは、**[再生]**を押すと、再生も始まります。
- 映像や音声が出るまでに時間がかかることがありますが、本機の故障ではありません。

メニュー画面を表示したときは

例）

1 2 3
4 5 6 ≧10
7 8 9 0

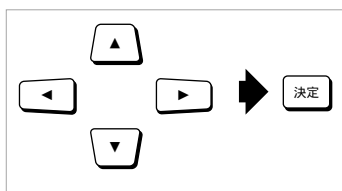
押して
項目を選ぶ

または

押して
項目を選ぶ
（DVD のみ）

■**数字ボタンで 2 ケタの番号を入力するには**

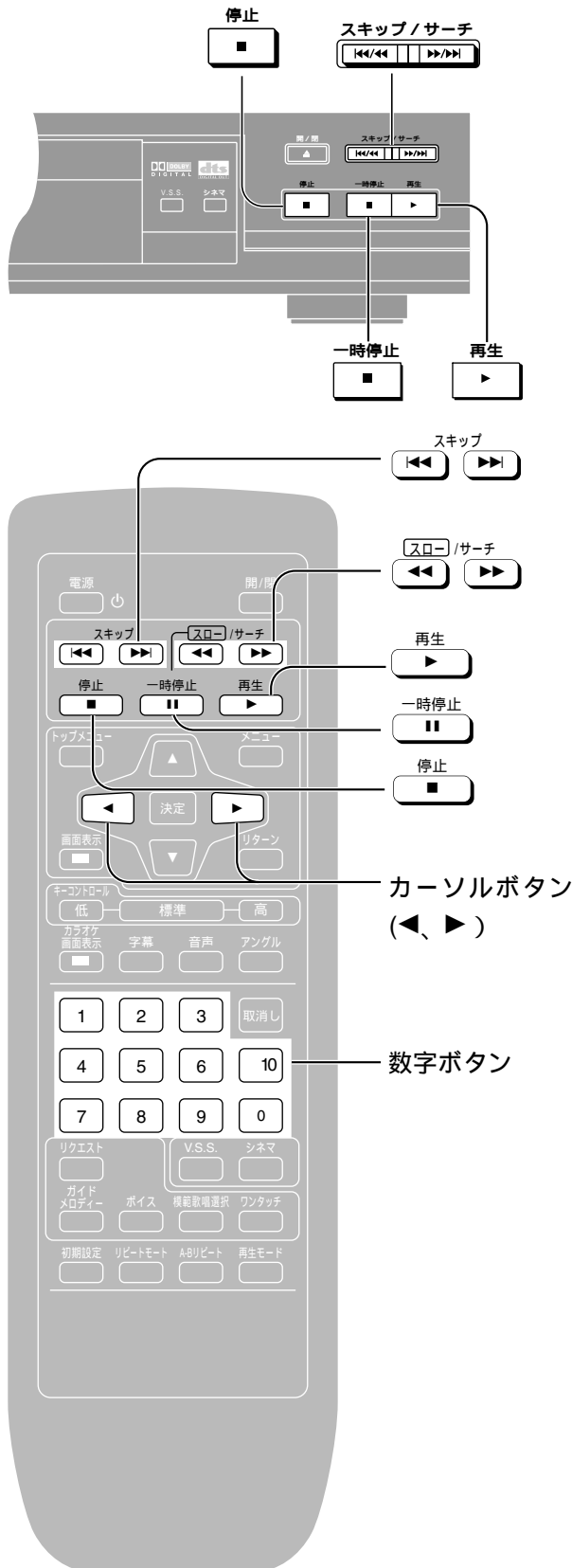
例）25

≧10 ➡ 2 ➡ 5

■**その他のメニュー操作**

ディスクにより異なりますので、ディスクのジャケットもご参照ください。

[▶▶I]	：次のメニューを出す
[I◀◀]	：一つ前のメニューに戻る
[トップメニュー]	：最初のメニューに戻る
[メニュー]	：メニュー画面を出す
[リターン]	：メニュー画面を出す

ディスクを再生する（つづき）

停止
スキップ／サーチ
一時停止
再生
スキップ
スロー／サーチ
再生
一時停止
停止
カーソルボタン
(◀、▶)
数字ボタン

再生を止める

表示窓に“ ▷ ”が点滅しているときは、止めた位置が記憶されています。**（続き再生メモリー機能）**

“ ▷ ”点滅中**[再生]**を押すと、止めた位置から再生が始まります。

DVD の場合は、さらに次の画面を表示します。

表示中に**[再生]**を押すと、再生を止めた位置までの各場面（チャプター）の冒頭を再生した後、止めた位置から再生が始まります。**（あらすじリプレイ）**[同一場面（タイトル）内でのみ働きます。]

[再生]を押さずに放置しておくと画面が消え、止めた位置から再生が始まります。

■ 続き再生メモリー機能を解除するには

“ ▷ ”点滅中 **[停止]**を押す

お知らせ

続き再生メモリー機能は

- 電源を切っても働いています。トレイを開けると解除されます。
- 再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

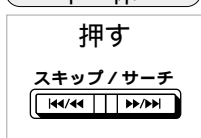
静止（一時停止）する

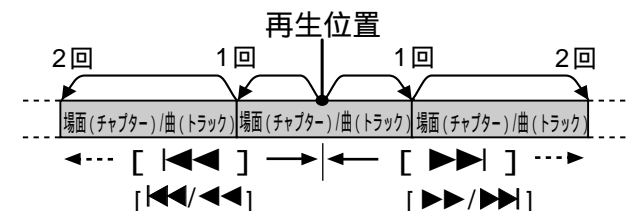
[再生]を押すと、通常再生に戻ります。

場面（チャプター）・曲（トラック）を飛びこす

DVD　VCD　CD

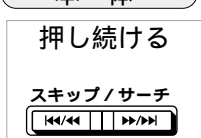
再生中／静止（一時停止）中

リモコン　押す　スキップ　または　本体　押す　スキップ／サーチ

[⏮] [⏮/◀◀]：戻る　[⏭] [▶▶/⏭]：進む

押した回数だけ飛びこします。

早送り・早戻しする

DVD　VCD　CD

再生中

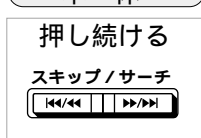
リモコン　押す　スロー/サーチ　または　本体　押し続ける　スキップ／サーチ

[◀◀][⏮/◀◀]：戻る　[▶▶][▶▶/⏭]：進む

- 押すたびに（本体では押し続けると）速くなります。（5 段階）
- **[再生]**を押すと、通常再生に戻ります。
- DVD ／ビデオ CD は早送り 1 速時のみ音声が聞こえます。音声を消すこともできます。（「エキスパート設定」☞32 ページ）

スロー再生する

DVD　VCD

静止（一時停止）中

リモコン　押す　スロー/サーチ　または　本体　押し続ける　スキップ／サーチ

[◀◀][⏮/◀◀]：戻る(DVD のみ)[▶▶][▶▶/⏭]：進む

- 押すたびに（本体では押し続けると）速くなります。（5 段階）
- **[再生]**を押すと、通常再生に戻ります。

コマ送り・コマ戻しする

DVD　VCD

静止（一時停止）中

リモコン　押す

[◀]：戻る（DVD のみ）　**[▶]**：進む

- 押し続けると、連続してコマ送り／コマ戻し再生になります。
- **[再生]**を押すと、通常再生に戻ります。
- **[一時停止]**を押してもコマ送りできます。

場面（タイトル）・曲（トラック）を番号指定で再生する

DVD　VCD※　CD

停止中

リモコン　押す

選んだ場面（タイトル）／曲（トラック）から再生が始まります。（「プレイバックコントロール付ビデオ CD の場合」☞下記）

- カラオケ DVD、ビデオ CD、CD の場合は再生中でも働きます。
- ディスクや再生状態によって働かないことがあります。

<※プレイバックコントロール付ビデオ CD の場合>

メニュー再生を解除してから操作してください。

1 再生中**[停止]**を押して表示窓の“PBC”を消す

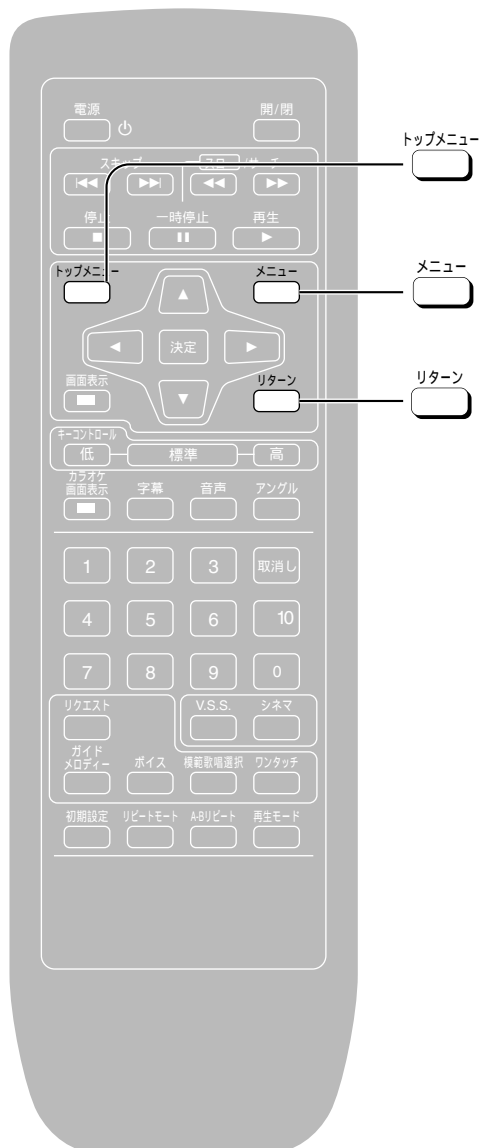
2 **数字ボタン**を押す

■ メニュー再生に戻すには

1 **[停止]**を数回押して表示窓の“▷”を消す

2 **[再生]**または**[メニュー]**を押す
表示窓に“PBC”が点灯します。

お知らせ

プレイバックコントロール（☞40 ページ）付ビデオ CD のメニュー再生中は **[⏮、⏭]** や **[◀◀、▶▶]**が正しく働かないことがあります。

メニュー画面に戻す

DVD **VCD**

＜DVD＞

再生中

リモコン

（「複数のメニューを持つ DVD の場合」☞ 下記）

＜ビデオ CD＞

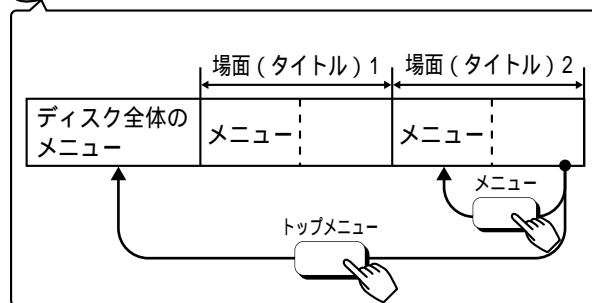
再生中

リモコン

＜複数のメニューを持つ DVD の場合＞

[トップメニュー]を押してもメニュー画面に戻すことができます。

- ただし**[メニュー]**を押したときと**[トップメニュー]**を押したときとで表示されるメニューが異なる場合があります。

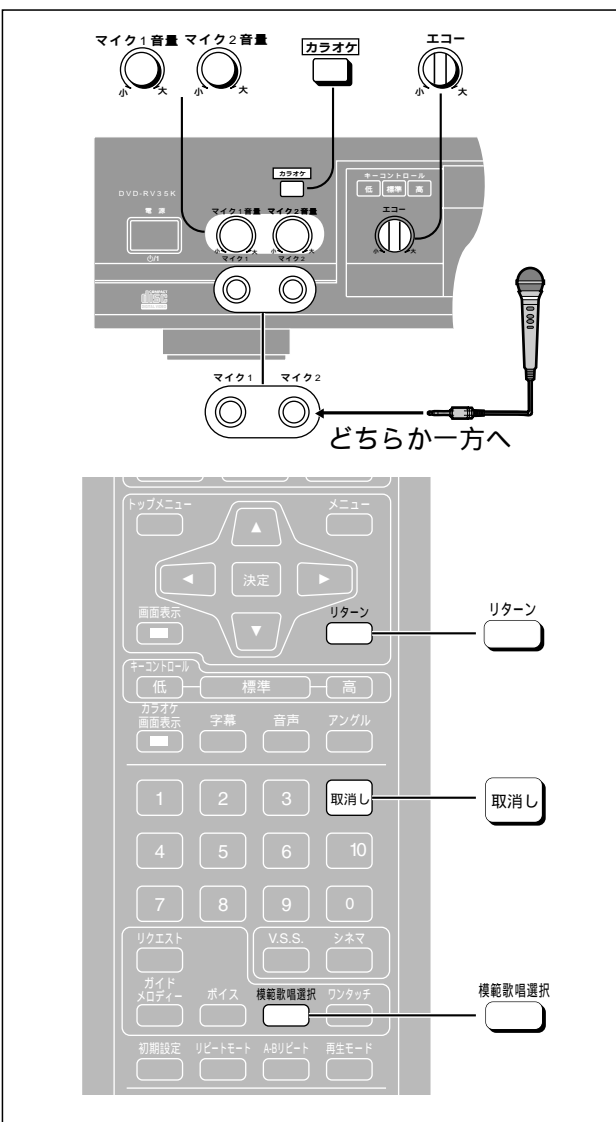
例えば場面（タイトル）2 再生中にそれぞれのボタンを押すと

お知らせ

メニューの内容は、ディスクによって異なりますが、ここでは一般的な操作方法を紹介しています。

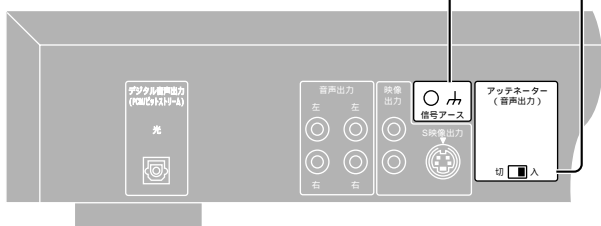
カラオケを楽しむ

DVD VCD CD

ディスクの再生については、10、11ページをご参照ください。

どちらか一方へ

お願い

- テレビのスピーカーを使ってカラオケを楽しむときには、本機後面の**アッテネーター**を**「入」**にしてください。マイクからの音声がひずむのを抑えます。（出荷時は**「切」**になっています。）
- マイクの雑音を低減するための端子です。雑音が気になるときは、接地してください。安全アースではありません。

本機後面

マイク（別売）を接続する

標準プラグ（M6）のものをご使用ください。

- デュエットを楽しみたいときは、マイク1、2の両方に接続してください。

■ カラオケボタンが消灯しているときは

本　体

押す

カラオケ

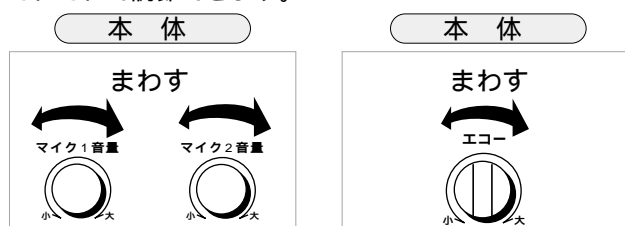
- ボタンが消灯しているとマイクやカラオケGUI画面（☞23ページ）などが使えません。
- ボタンが点灯していると、全体の音量が少し小さくなります。

■ マイクの音量を調節するには

[マイク1][マイク2]のそれぞれで調節できます。

本　体

■ エコーを効かせるには

本　体

カラオケディスクの音声を切り換える（模範歌唱選択）

再生中

リモコン

押す

模範歌唱選択

押すたびに音声が切り換わります。

例）DVDソロディスクの場合

＜DVD＞

- **ソロディスク**

---（歌手の声「切」：カラオケをするとき）
↕
入（歌手の声「入」）

- **デュエットディスク**

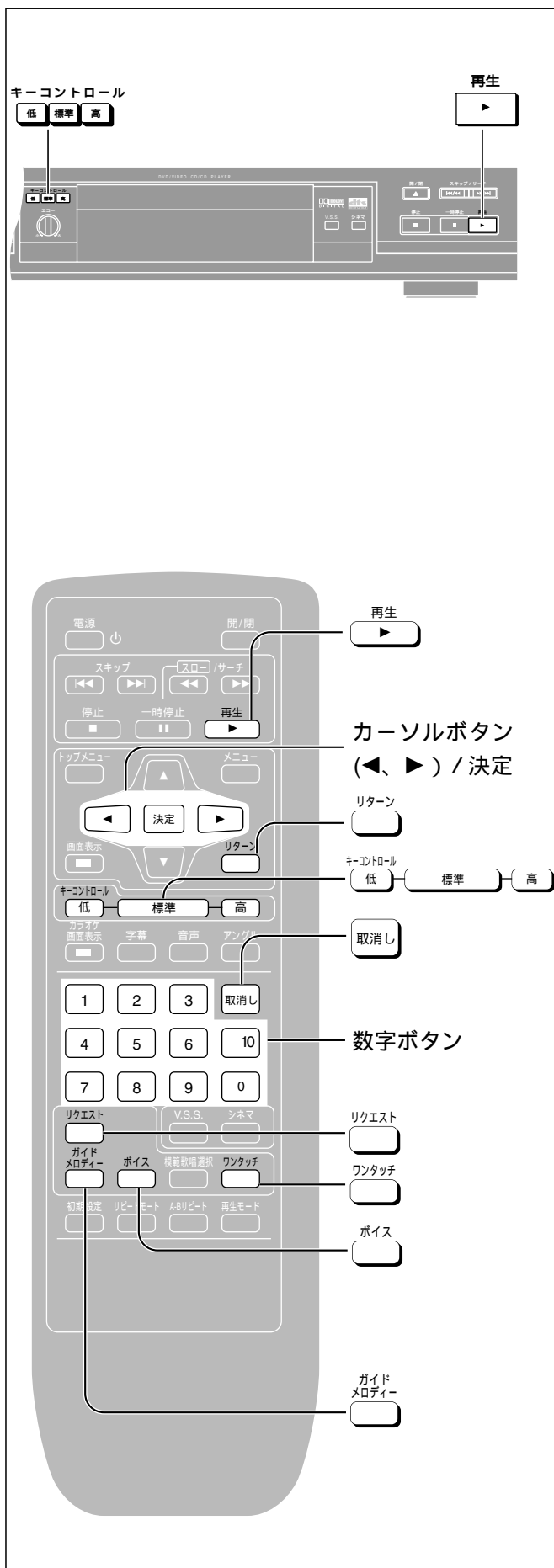
→ ---（歌手の声「切」：カラオケをするとき）
↓
1＋2（歌手の声1、2とも「入」）
↓
V1（歌手の声1のみ「入」：デュエットをするとき）
↓
V2（歌手の声2のみ「入」：デュエットをするとき）

＜ビデオCD／CD＞

→ LR（歌手の声が右よりに聞こえる）
↓
L（歌手の声なし：カラオケをするとき）
↓
R（歌手の声が左右均等に聞こえる）
↓
L+R（歌手の声が左右均等に聞こえる）

- ディスクのジャケットなどもご参照ください。
- 伴奏しか記録されていないディスクでは音声の切り換えはできません。

■ 表示を消すには

[リターン]または**[取消し]**を押す

カラオケ対応でないディスクでカラオケを楽しむ（ワンタッチカラオケ）

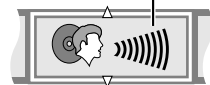
DVD VCD CD

再生中

リモコン

押す

ワンタッチ

押すたびに歌手の声の音量が切り換わります。

（歌手の声の音量小：カラオケ風になる）

↕

（通常の音量）

■ 表示を消すには

[リターン]または**[取消し]**を押す

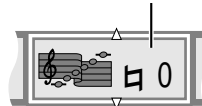
お知らせ

ディスクや曲によって効果が出ないことがあります。

伴奏の音程を調節する（キーコントロール）

DVD VCD CD

再生中

押すたびに音程が半音ずつ（6 段階）切り換わります。

■ 元に戻すには

[標準]を押す

■ 表示を消すには

[リターン]または**[取消し]**を押す

キーコントロール　低　標準　高

再生

リモコン：再生、カーソルボタン（◄、►）／決定、リターン、キーコントロール（低・標準・高）、取消し、数字ボタン、リクエスト、ワンタッチ、ボイス、ガイドメロディー

ガイドメロディーの音量を切り換える

DVD

（ガイドメロディーが記録されているディスクのみ）
ガイドメロディーとは、慣れていない曲でも歌いやすいように歌手の声のメロディーを記録したものです。
ディスクのジャケットもご参照ください。

再生中

リモコン

押すたびにガイドメロディーの音量が切り換わります。

→ 1（通常の音量）
↓
2（音量大）
↓
切（ガイドメロディーなし）

歌うときだけ歌手の声を消す（ボイスチェンジ）

DVD **VCD** **CD**

“ 入 ” にすると歌っている間だけ歌手の声が聞こえなくなり、歌詞につまったりして歌うのを止めると、歌手の声が聞こえます。
よく覚えていない曲の練習などに便利です。

再生中

リモコン

押すたびに “ 入 ”“ 切 ” が切り換わります。

切

歌いたい曲を予約する(リクエスト)

DVD **VCD** **CD**

1 再生中／停止中

リモコン

押して

リクエスト画面を表示する

2 リモコン

押して

曲を選ぶ（最大 8 曲）

- **カーソルボタン[◀、▶]**を押して “ ALL ” を選び**[決定]**を押すと全曲が予約されます。

< 2 ケタの番号を入力するには >

例）15

3 <停止中の場合>

リモコン　　本体

または

再生 ▶

押して

再生を始める

再生中の場合は、再生中の曲が終了後、予約曲が再生されます。

■ 予約を変更するには

<予約を部分変更するには>

1 カーソルボタン[◀、▶]を押して変更する番号を選ぶ

2 数字ボタンを押して変更する

<予約を取り消すには>

1 カーソルボタン[◀、▶]を押して取り消す番号を選ぶ

2 [取消し]を押す
- “ ALL ” を選んで全曲を予約した場合は、リクエスト画面を表示させて**[取消し]**を押す。

■ 通常の再生に戻すには

全ての予約を取り消す（「予約を取り消すには」☞ 上記）

■ リクエスト画面を消すには

[リクエスト]を押す

順番を変えて再生する

再生

停止

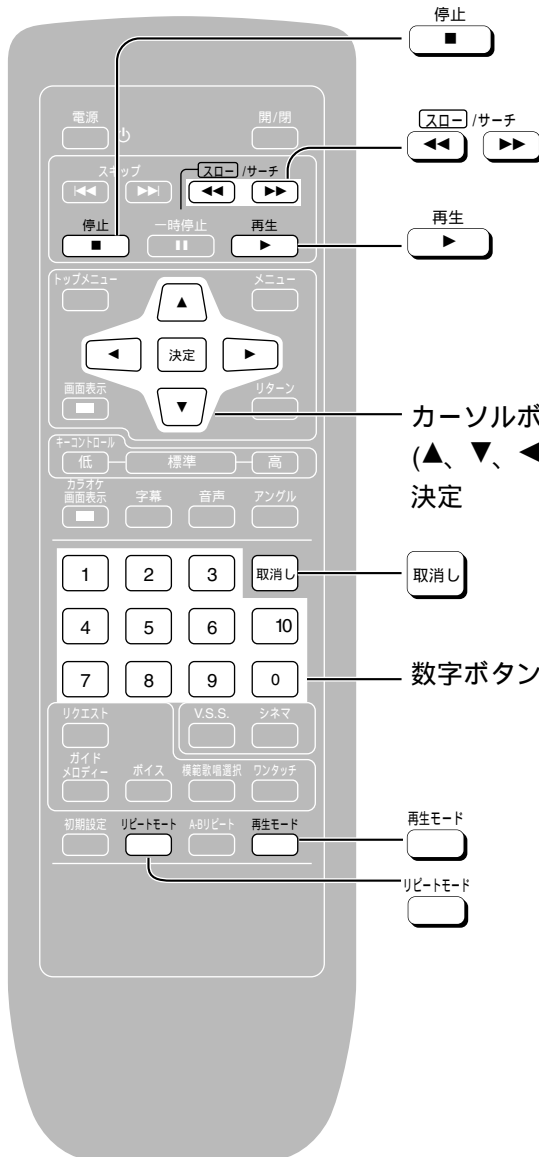
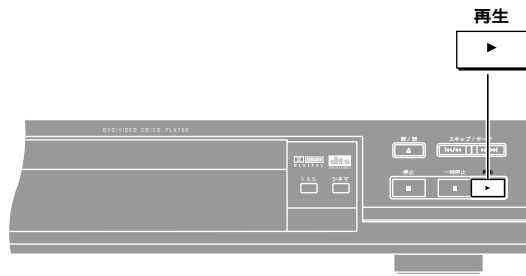
スロー/サーチ

カーソルボタン (▲、▼、◀、▶) ／決定

取消し

数字ボタン

再生モード

リピートモード

停止中

リモコン

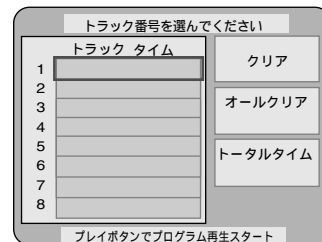
再生モード

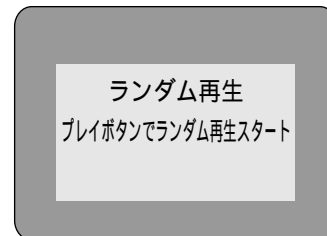
押して

プログラム再生かランダム再生を選ぶ

ボタンを押すたびに切り換わります。
“ ⃠ ” が表示されたときは**[停止]**を押して表示窓の “ ▷ ” を消してから**[再生モード]**を押してください。

A 好みの順に再生する（プログラム再生）
（最大 32 曲まで）

↓

B 順不同に再生する（ランダム再生）

↓

通常再生に戻る

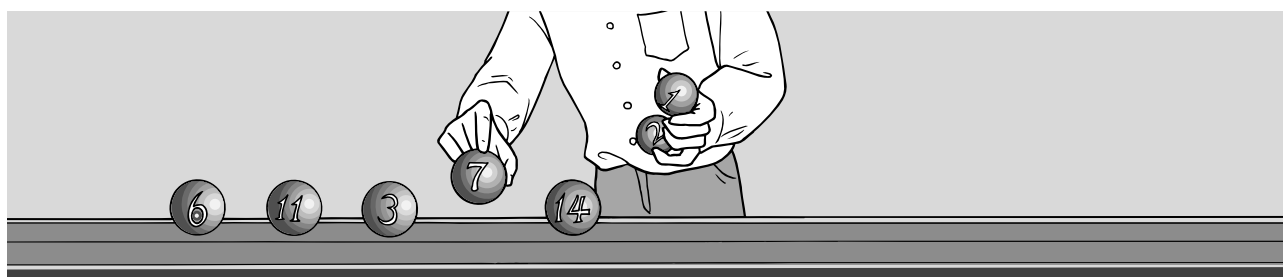
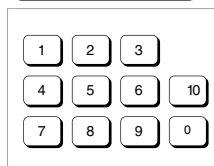
それぞれの画面を表示して 19 ページの操作を行うと、選んだ再生モードで再生が始まります。

■ 再生が終了したら

停止し、それぞれの画面に戻ります

■ 通常の再生に戻すには

1 **[停止]**を数回押して表示窓の “ ▷ ” を消す
2 **[再生モード]**を数回押して画面表示を消す
3 **[再生]**を押す

A 好みの順に再生する（プログラム再生）

1 リモコン

押して

曲（トラック）番号を選ぶ

必要なだけ繰り返してください。

- **[◀◀、▶▶]**を押すと画面に表示されていない前後の予約画面を確認できます。
- “ **トータルタイム** ”には予約合計時間が表示されます。
- 表示窓だけ見ながら予約をすることもできます。

2 リモコン

または

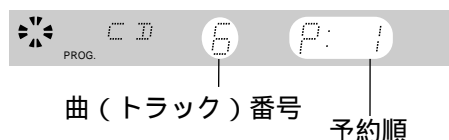
本体

押して

再生を始める

■ プログラム再生中に予約内容を変更するには

[停止]を数回押す

プログラム再生画面が表示されます。それぞれ右記の操作を行ってください。

<予約を部分変更するには>

1 **カーソルボタン［▲、▼]**を押して変更する曲（トラック）を選ぶ

2 **数字ボタン**を押して変更する

<予約を 1 つずつ取り消すには>

1 **カーソルボタン［▲、▼］**を押して取り消す曲（トラック）を選ぶ

2 **[取消し]**を押す

- **[取消し]**を押すかわりに**カーソルボタン**で“ **クリア** ”を選び**[決定]**を押しても操作できます。

<予約を全て取り消すには>

1 **カーソルボタン［▲、▼、◀、▶］**を押して“ **オールクリア** ”を選ぶ

2 **[決定]**を押す

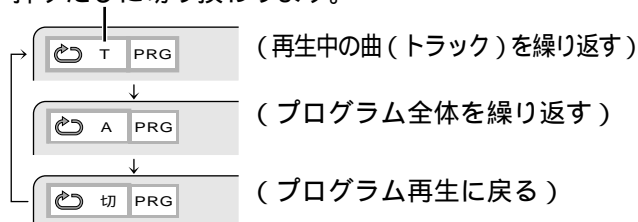
■ 予約したトラックを繰り返し再生するには（プログラムリピート再生）

プログラム再生中、**リモコンの[リピートモード]**を押す（「繰り返し再生する」☞22 ページ）

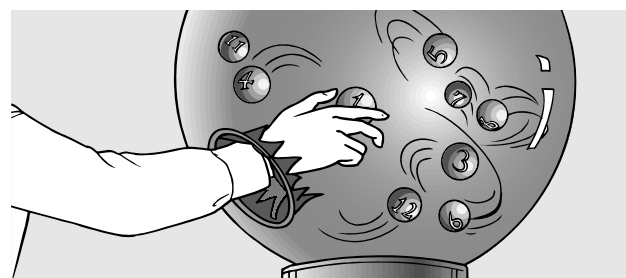
押すたびに切り換わります。

(再生中の曲（トラック）を繰り返す)

(プログラム全体を繰り返す)

(プログラム再生に戻る)

お知らせ

予約は解除しない限り、電源を切るか、トレイを開けるまで保持されます。

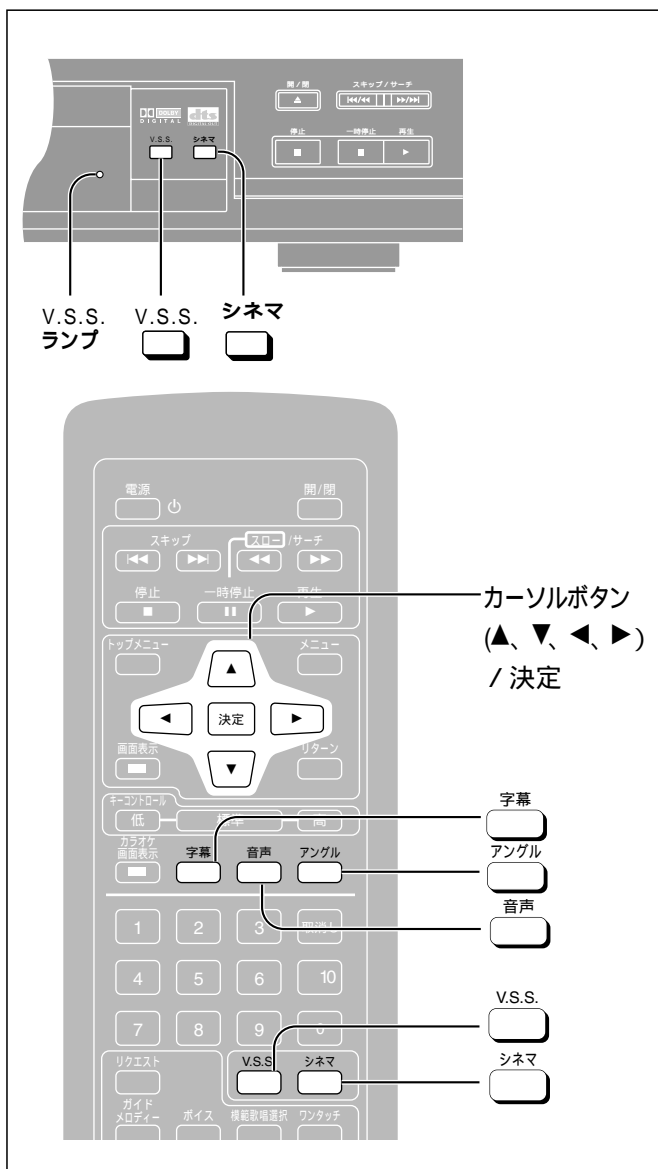
B 順不同に再生する（ランダム再生）

リモコン

または

本体

押して

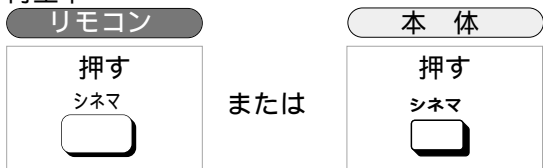
再生を始める

映画・音楽ソフトをもっと楽しむ

映画鑑賞向けの画質にする（シネマポジション）

DVD **VCD**

- ブラウン管テレビ特有のギラギラした感じを抑え、しっとりしたやさしい映像を実現します。
- 暗くて見えにくい場面でも、人物などが見えやすいように、画面の暗部の輪郭を忠実に再現します。

再生中

リモコン		本　体
押す シネマ	または	押す シネマ

押すたびに画質が切り換わります。

C：映画鑑賞向けの画質 ⟷ **N**：通常の画質

2本のスピーカーでサラウンド効果を楽しむ（V.S.S.）

DVD

（ドルビーデジタル2ch以上のディスク）

V.S.S.（バーチャルサラウンドサウンド）機能を使うと音に広がりを与え、フロントスピーカー（L／R）だけでサラウンド効果を楽しむことができます。

<サラウンド信号があるディスクの場合>

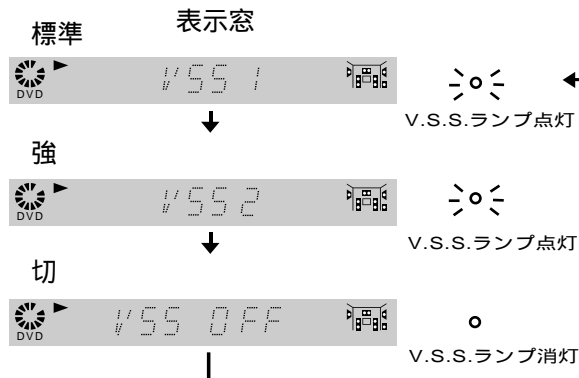
音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。

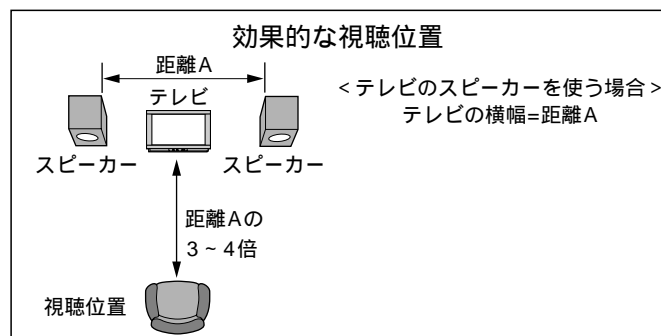
準備

- 外部スピーカーを接続してください。
- 接続した機器のサラウンド機能を「切」にしてください。
- **［カラオケ］**を押してボタンを消灯させてください。

再生中

リモコン		本　体
押す V.S.S.	または	押す V.S.S.

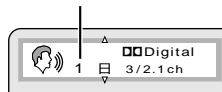
押すたびにV.S.S.のレベルが切り換わります。

お知らせ

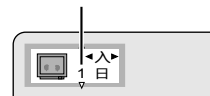
- ディスクによってはサラウンド効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- ディスクによって、音声がひずむことがあります。その場合はV.S.S.を“ OFF ”（切）にしてください。

音声を切り換える

DVD　VCD

再生中

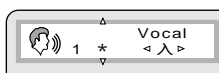
リモコン

押す
音声

押すたびに切り換わります。
（音声が記録されていないときは“ - ”と表示）

（例）

こんなこともできます

音声の切り換え機能を使ってカラオケディスクの歌手の声を切り換えることができます。

1 再生中、**[音声]**を押す

＜DVD＞　　**＜ビデオ CD＞**

2 ＜DVD の場合＞
カーソルボタン［◀、▶］を押して歌手の声を切り換える

＜ビデオ CD の場合＞
カーソルボタン［▲、▼］または**[音声]**を押して歌手の声を切り換える

以下のように切り換わります。

- **DVD ソロディスク**
 ---（歌手の声「切」：カラオケをするとき）
 ↕
 入（歌手の声「入」）
- **DVD デュエットディスク**
 ---　（歌手の声「切」：カラオケをするとき）
 ↕
 1 ＋ 2（歌手の声 1、2 とも「入」）
 ↕
 V1　（歌手の声 1 のみ「入」：デュエットをするとき）
 ↕
 V2　（歌手の声 2 のみ「入」：デュエットをするとき）
- **ビデオ CD**
 LR　（歌手の声が右よりに聞こえる）
 ↕
 L　（歌手の声なし：カラオケをするとき）
 ↕
 R　（歌手の声が左右均等に聞こえる）
 ↕
 L+R（歌手の声が左右均等に聞こえる）

字幕言語を切り換える

DVD

再生中

リモコン

押す
字幕

押すたびに切り換わります。
（字幕が記録されていないときは“ -- ”と表示）

（例）

変更後は字幕が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

■ 字幕を「入」「切」するには

カーソルボタン[◀、▶]を押す

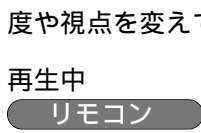
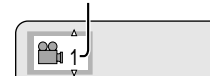
アングルを切り換える

DVD

表示窓に“ ANGLE ”が表示されている場合は、複数のアングルが記録されています。1 つの場面を角度や視点を変えて見ることができます。

再生中

リモコン

押す
アングル

押すたびに切り換わります。

お知らせ

- **カーソルボタン［▲、▼]**や**数字ボタン**で音声／字幕／アングル番号を選ぶこともできます。DVD の場合、音声／字幕／アングルが一つしか記録されていない場合は、枠の“ △、▽ ”マークは表示されません。
- メニュー画面でのみ音声／字幕／アングルの切り換えができるディスクもあります。
- あらかじめアングル番号を指定しておくことができるディスクもあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。
- 最初から好みの言語で聞きたい／見たい場合は、音声／字幕言語の設定を行ってください。（「ディスク言語」☞30 ページ）電源を入れたときやディスクを入れ替えたときはその設定が優先されます。

■音声／字幕／アングルの画面表示を消すには

[決定]を押す
しばらく放置しておいても自然に消えます。

■“ ⃠ ”が表示されたときは

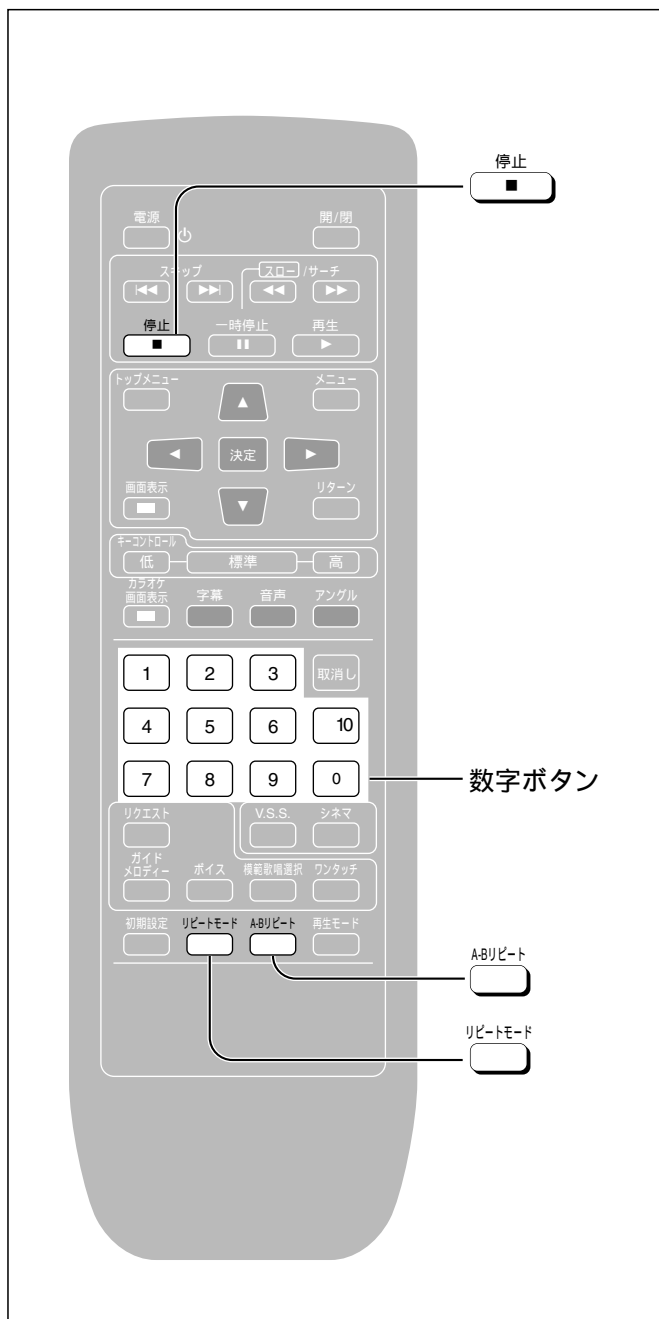
ディスクに記録されていない音声／字幕／アングル番号を選んでいるため、入力できません。

こんなこともできます

GUI 画面を使って下記のような楽しみかたもできます。詳しくは 25、27 ページをご参照ください。

- **シネマボイスモード**：映画のセリフを聞きやすくする
- **マーカー**：もう一度再生したいところにマークをつける

繰り返し再生する

DVD **VCD** **CD**

繰り返し再生する（リピート再生）

再生中

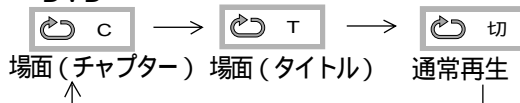
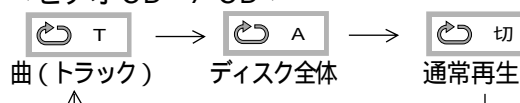
リモコン

リピートモード

押して

リピート再生の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに切り換わります。

＜DVD＞

＜ビデオ CD※／CD＞

＜※プレイバックコントロール付ビデオ CD の場合＞

メニュー再生を解除してから操作してください。

1 再生中、表示窓の“ P BC ”が消えるまで**[停止]**を押す

2 数字ボタンでトラックを選び再生を始める

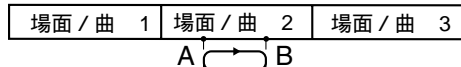
3 [リピートモード]を押す（☞ 上記）

好みの場所を繰り返し再生する（A-B リピート再生）

同一場面（タイトル）／曲（トラック）内で好みの 2 点(A 点と B 点)を指定して、その 2 点間を繰り返し再生することができます。

場面／曲 1	場面／曲 2	場面／曲 3

A → B

再生中

リモコン

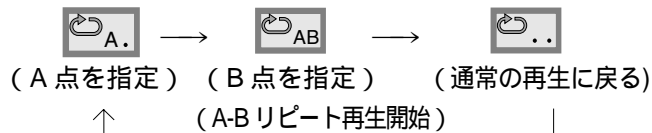
押して

A点（始点）とB点（終点）を指定する

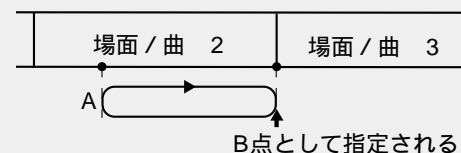
A-B 間の繰り返し再生が始まります。

ボタンを押すたびに切り換わります。

A. → AB → ..

（A 点を指定） （B 点を指定） （通常の再生に戻る）

（A-B リピート再生開始）

お知らせ

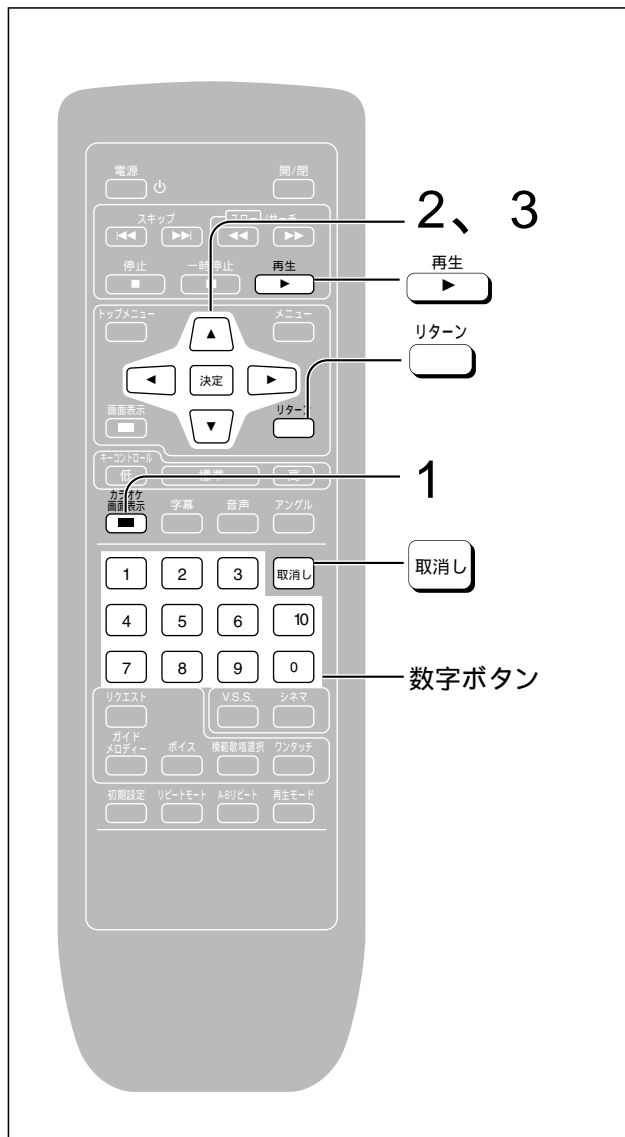
- 再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは、リピート／ A-B リピート再生が働きません。ただしこの場合でも、ビデオ CD のメニュー再生中は A-B リピート再生は働きます。なお、ディスクによって働かないものもあります。
- リピート／ A-B リピート再生中は表示窓に“ ⥁ ”が点灯します。（☞ 例 1）
- A-B リピート再生の B 点を指定する前に場面（タイトル）／曲（トラック）が終わったときは、その終点が B 点として指定されます。（☞例 2）
- DVD の場合、ディスク全体の繰り返し再生は選べません。

絵表示（GUI画面）を使って操作する DVD VCD CD

GUI（Graphical User Interface）とは

（グラフィカル・ユーザー・インターフェース）

「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合はディスクや本機の情報などを表示する細長い画面を「GUI画面」と呼びます。情報を確認しながら内容を変更できます。
本機には「カラオケGUI画面」と「GUI画面」の2つがあります。

お知らせ

- 表示内容はディスクによって異なります。
- ディスクや再生状態（停止中など）によって操作できないものがあります。
- 枠の“△、▽”マークは**カーソルボタン [▲、▼]** で変更できることを示します。
- カラオケGUI画面が欠けたり表示されなかったりする場合、表示される位置を変えることができます。色を変えることもできます。（「オンスクリーン」☞32ページ）

カラオケGUI画面の操作方法

準備

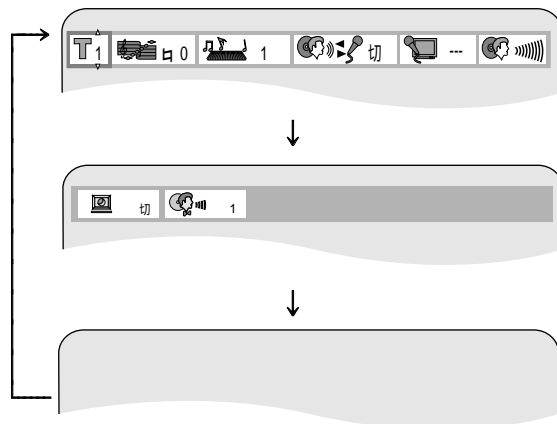
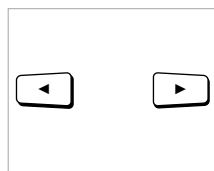
[カラオケ] を押してボタンを点灯させる

1 再生中／停止中

押して

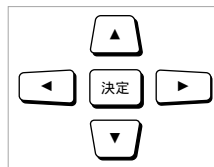
画面表示を切り換える

押すたびに切り換わります。

例）DVDの場合

2 押して

項目を選ぶ

内容については24ページをご覧ください。

3 押して

内容を変更する

変更が実行されないときは **[決定]** または **[再生]** を押してください。

- **数字ボタン**で変更できるものもあります。

■画面表示を消すには

[リターン] または **[取消し]** を押す

絵表示（GUI 画面）を使って操作する（つづき）

カラオケ GUI 画面の表示例

表示	説明
T 1	**場面（タイトル）番号** DVD ／**曲（トラック）番号** VCD CD 番号を選び**[決定]**を押すと、その場面（タイトル）／曲（トラック）の再生開始
♮ 0	**キーコントロール** 半音（1/2）ずつ音程を調節する ♭：下げる（6 段階）　♮：元に戻す　♯：上げる（6 段階）
1	**ガイドメロディー** DVD ガイドメロディーの音量を調節する **1**：通常の音量　**2**：音量大　**切**：ガイドメロディー「切」
切	**ボイスチェンジ「入」「切」** “ 入 ” を選ぶと歌っている間だけ歌手の声が消える
---	**音声切り換え**（☞ 下記「歌手の声チャンネル」） 選んだ音声で再生開始
	ワンタッチカラオケ「入」「切」(　：**「入」**　：**「切」)** “ 入 ” を選ぶとカラオケ対応でないディスクがカラオケ風になる

<歌手の声チャンネル>

● DVD（ソロディスク）	● DVD（デュエットディスク）	● ビデオ CD/CD
---：歌手の声「切」 カラオケをするとき ↕ 入：歌手の声「入」	→ ---　：歌手の声「切」 カラオケをするとき ↕ 1 ＋ 2　：歌手の声 1、2 とも「入」 ↕ V1　：歌手の声 1 のみ「入」 デュエットをするとき ↕ →V2　：歌手の声 2 のみ「入」 デュエットをするとき	→ LR　：（歌手の声が右よりに聞える） ↕ L　：（歌手の声なし：カラオケができる） ↕ R　：（歌手の声が左右均等に聞こえる） ↕ → L+R　：（歌手の声が左右均等に聞こえる）

表示	説明
切	**重低音モード** 重低音を強調する **入**：重低音を強調　**切**：解除
1	**音声レベル** 歌手の声の音量を調節する **1**：通常の音量　**2**：音量大

■画面表示を消すには

[リターン]または**[取消し]**を押す

お知らせ

- 表示内容はディスクによって異なります。
- ディスクや再生状態（停止中など）によって操作できないものがあります。
- 枠の“△、▽”マークは**カーソルボタン [▲、▼]**で変更できることを示します。
- GUI画面が欠けたり表示されなかったりする場合、表示される位置を変えることができます。色を変えることもできます。(「オンスクリーン」☞32ページ)

GUI画面の操作方法

1 再生中／停止中

押して

画面表示を切り換える

押すたびに切り換わります。

例）DVDの場合

<ディスク情報画面>（☞26ページ）

場面（タイトル）／場面（チャプター）／曲（トラック）を選んだり、音声／字幕／アングルを切り換えたりできます。

↓

<本機情報画面>（☞27ページ）

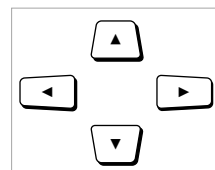
好みの場所にマークをしたり、V.S.S.の効果を変えたり、セリフを聞き取りやすくしたりできます。

↓

<シャトル画面>（☞27ページ）

早送り／早戻しや、スロー再生ができます。

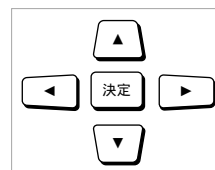
↓

2

押して

項目を選ぶ

内容については26、27ページをご覧ください。

3

押して

内容を変更する

変更が実行されないときは**[決定]**または**[再生]**を押してください。

- シャトル画面の場合、手順3は不要です。
- **数字ボタン**で変更できるものもあります。

絵表示（GUI画面）を使って操作する（つづき）

GUI画面（ディスク情報画面）の表示例

表示	内容
T 1	**場面（タイトル）番号** DVD ／**曲（トラック）番号** VCD CD 番号を選び**[決定]**を押すと、その場面（タイトル）／曲（トラック）の再生開始
C 30	**場面（チャプター）番号** DVD 番号を選び**[決定]**を押すと、その場面（チャプター）の再生開始
1:06:37	**経過時間** DVD **数字ボタン**で指定した時間から再生開始 例）1時間6分37秒から再生するとき **[1]→[0]→[6]→[3]→[7]→[決定]**を押す
3:37	**時間表示モード** VCD CD 再生中**カーソルボタン[▲、▼]**を押すたびに表示を変更する 曲（トラック）の経過時間←→曲（トラック）の残り時間←→ディスクの残り時間 ↑＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿↑
1 英 LPCM 48k 16b ⓐ ⓑ	**音声番号** DVD 番号を選ぶとその音声で再生 ⓐ：番号に割りあてられた言語（ⓐ「音声／字幕言語」☞ 下記） ⓑ：番号に割りあてられた音声属性（ⓑ「音声属性」☞ 下記）
L R	**音声チャンネル** VCD チャンネルを選ぶとその音声で再生 LR ←→ L ←→ R （左右チャンネル） （左チャンネル） （右チャンネル） ↑＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿↑
1 入 英 ⓐ	**字幕番号／字幕「入」「切」** DVD 番号を選ぶと、その言語で再生／字幕の「入」「切」の選択 ⓐ：番号に割りあてられた言語（ⓐ「音声／字幕言語」☞ 下記）
1	**アングル番号** DVD 番号を選ぶとそのアングルで再生
PBC 切	**メニュー再生の「入」「切」状態表示**（プレイバックコントロール機能付 VCD ） 内容変更はできません。

ⓐ 音声／字幕言語

日：日本語
英：英語
仏：フランス語
独：ドイツ語
伊：イタリア語
西：スペイン語
蘭：オランダ語
中：中国語
露：ロシア語
韓：韓国語
＊：その他

ⓑ 音声属性

LPCM／DD Digital／DTS：信号タイプ
k：サンプリング周波数　**b**：ビット数　**ch**：チャンネル数
Vocal：カラオケディスクのボーカル表示
（**カーソルボタン[▲、▼]**で切り換えることができます。）
<ソロ>　　　- - - ←→入
<デュエット> - - - ←→V1＋V2←→V1←→V2
↑＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿↑

（カラオケディスクのボーカル表示以外は変更はできません。）

GUI 画面（本機情報画面）の表示例

表示	内容
‥	**AB リピート再生** 指定した 2 点間を繰り返し再生 再生中**[決定]**を押すたびに A.（A 点を指定）→ AB（B 点を指定）（AB リピート再生が始まる）→ ‥（通常再生） ●同一場面（タイトル）／曲（トラック）内でのみ可能です。 ●B 点を指定する前に場面（タイトル）／曲（トラック）が終わったときは、その終了点が B 点として指定されます。
切	**リピート再生** 再生の種類を選ぶと繰り返し再生開始 DVD C[場面（チャプター）]←→T[場面（タイトル）]←→切[通常再生] VCD CD T[曲（トラック）]←→A[ディスク全体]←→切[通常再生]
---	**再生モード表示** VCD CD：内容変更はできません。 **RND**：ランダム再生 **PRG**：プログラム再生 **---**： 通常再生
切	**シネマボイスモード「入」「切」** DVD （ドルビーデジタル 3 ch 以上のディスク） “ 入 ” を選ぶとセンターチャンネルのセリフの音量が上がる
＊＊＊＊＊	**マーカー** もう一度再生したいところにマークをつける（最大 5 ヵ所） **[決定]**を押し、マークしたいところでもう一度押す ●2 つ目以降はまず**カーソルボタン[▶]**を押してください。 ●電源を切るか、トレイを開けるまでマーク番号は保持されています。 **■マークを呼び出す** **カーソルボタン[◀、▶]** でマークを選び **[決定]**を押す **■マークを取り消す** **カーソルボタン[◀、▶]** でマークを選び **[取消し]**を押す
N	**シネマポジション** DVD VCD 画質を選ぶ **C**：映画鑑賞向けの画質 **N**：通常の画質
切	**V.S.S.レベル** DVD （ドルビーデジタル 2 ch 以上のディスク） 効果のレベルを選ぶ 1（標準）←→ 2（強） └→ 切（解除）←┘

GUI 画面（シャトル画面）の表示例

※早送り／早戻しの速度を変えても数値は変わりません。最大速度を表示しています。

●早送り／早戻し、スロー再生の速度は 5 段階あり、カーソルボタン**[◀、▶]**を押すたびに速くなります。

●ディスクによって操作できないものもあります。

初期設定一覧表

初期設定画面を使って、再生時の言語表示、視聴制限などの設定を変更することができます。ここでは、初期設定の内容を一覧表にしています。
詳しくは、各ページをご参照ください。（下線部：出荷時の設定）

メニュー項目	設定内容		参照ページ
ディスク言語	音声言語	●日本語 ●英語 ●オリジナル ●その他	30
	字幕言語	●オート ●日本語 ●英語 ●その他	
	メニュー言語	●日本語 ●英語 ●その他	
視聴制限	8 すべて視聴可		31
	7～0 すべて不可	●ロック解除 ●暗証番号変更 ●レベル変更 ●一時解除	
画面メニュー言語	日本語		31
	English		
オンスクリーン	画面メッセージ	●入 ●切	32
	色と位置	●青色 ●紫色 ●緑色 ●青色（少し下） ●紫色（少し下） ●緑色（少し下）	
FLディマー	常時　明		32
	常時　暗		
接続するTV	4：3		9
	16：9		
デジタル出力	PCM ダウン サンプリング変換	●しない ●する	37
	Dolby Digital	●Bitstream ●PCM	
	DTS Digital Surround	●Off ●Bitstream	
エキスパート設定	スチルモード	●オート ●フィールド ●フレーム	32
	早送り時の音声	●あり ●なし	
	TVモード（4：3）	●パン&スキャン ●レターボックス	
	音声のダイナミックレンジ 圧縮	●切 ●入	
	I／P／B インジケーター	●しない ●する	

初期設定を変更する

お知らせ

電源を切っても次に変更するまで保持されます。

設定方法

1 停止中

初期設定

押して

初期設定画面を表示する

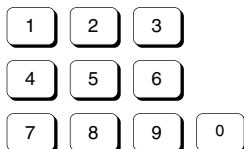
2 ▲ ▼ 決定

押して

項目／内容を選ぶ

必要なだけ繰り返してください。

または

押して

項目／内容を選ぶ

必要なだけ繰り返してください。

<初期設定の種類>

1 ディスク言語（☞30ページ）
音声／字幕／メニューの言語変更

2 視聴制限（☞31ページ）
視聴制限の設定／変更

3 画面メニュー言語（☞31ページ）
画面に表示される言語変更

4 オンスクリーン（☞32ページ）
画面表示の有無、色／位置変更

5 FLディマー（☞32ページ）
表示窓の明るさ設定

6 接続するTV（☞9ページ）
接続するテレビに合わせて設定

7 デジタル出力（☞37ページ）
接続するデジタル音響機器に合わせて設定

9 エキスパート設定（☞32ページ）
スチルモードなどの特殊な設定変更

■ ひとつ前の画面に戻るには

[リターン]を押す

■ 設定を終了するときは

[初期設定]を押す

初期設定を変更する（つづき）

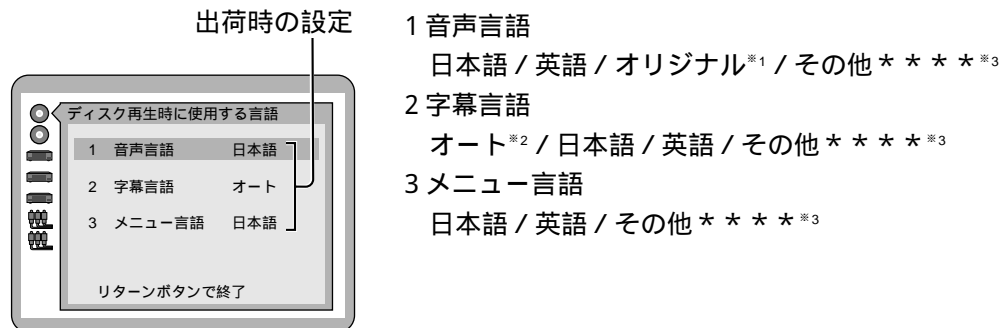
ディスク言語（設定方法☞ 29ページ）

DVDの再生時に使う各種言語が設定できます。設定した言語が、ディスクに記録されていない場合や、ディスク側であらかじめ優先言語が決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。

出荷時の設定

1 音声言語
日本語／英語／オリジナル※1／その他＊＊＊＊※3

2 字幕言語
オート※2／日本語／英語／その他＊＊＊＊※3

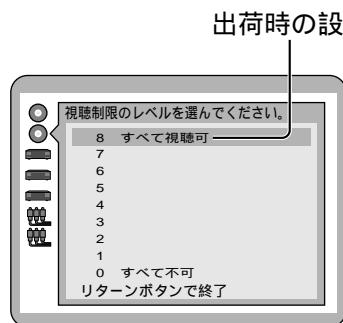
3 メニュー言語
日本語／英語／その他＊＊＊＊※3

※1 ディスクの最優先言語です。
※2 “音声言語”で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。
※3 **数字ボタン**でお好みの言語の言語番号（☞下記）を入力し、**[決定]**を押してください。
間違った数字を入力してしまったときは**[決定]**を押さない限り**[取消し]**を押すと取り消せます。

言語番号一覧表

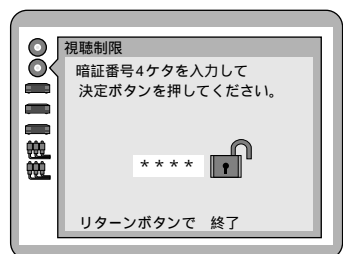
言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6588
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ヴォラピュック	8679
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国（朝鮮）語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール（スコットランド）	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
スペイン	6983
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タタール	8484
タミル	8465
タガログ	8476
タジク	8471
チェコ	6783
中国語	9072
チベット	6679
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア（白ロシア）	6669
ベンガル（バングラ）	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マライ（マレー）	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
マダガスカル	7771
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア（レット）	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

視聴制限（設定方法☞ 29ページ）

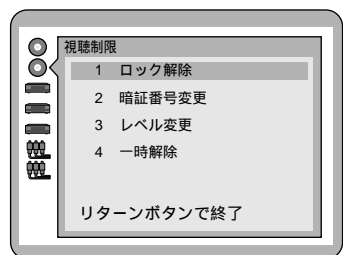
お子さまなどに見せたくない成人向けのDVDがそのまま再生されないようにできます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

出荷時の設定

レベル8　　：すべてのディスクが再生可
レベル7～1：制限レベルの記録されているディスク（成人向けや暴力シーンを含むもの）が再生不可
レベル0　　：すべてのディスクが再生不可

- レベル7以下を選んだときは**数字ボタン**で暗証番号（4ケタ）を入力し、**[決定]**を押してください。（ロックがかかります。）
  間違った数字を入力してしまったときは**[決定]**を押さない限り**[取消し]**を押すと取り消せます。

レベル7～0のとき

お願い

- 制限レベルが記録されていないディスクを制限したいときは“０ すべて不可”を選んでください。
- ロックすると正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変更できません。**暗証番号は忘れないでください。**

操作によって異なる画面が出ることがありますが、そのときは画面の指示に従ってください。

■ 制限内容を変更するには（レベル7～0のとき）

まず**数字ボタン**で暗証番号（4ケタ）を入力し、[**決定**]を押してください。

1 ロック解除　：制限を解除してレベル8に戻す
2 暗証番号変更：暗証番号を変更する
3 レベル変更　：制限レベルを変更する
4 一時解除　　：一時的に制限を解除する

- “４ 一時解除”を選ぶと、電源を切るかトレイを開けるまでレベル8の状態が続きます。

画面メニュー言語（設定方法☞ 29ページ）

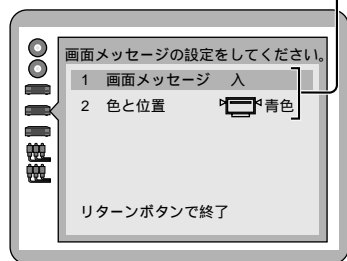
“再生”などの画面表示、初期設定画面の言語を選べます。

1 日本語
2 English（英語）

初期設定を変更する（つづき）

オンスクリーン（設定方法☞ 29ページ）

“ 再生 ”、“ 停止 ” などの画面表示の有無を選べます。（「画面メッセージ」）
また、これらの画面表示やGUI画面の色や位置が選べます。（「色と位置」）

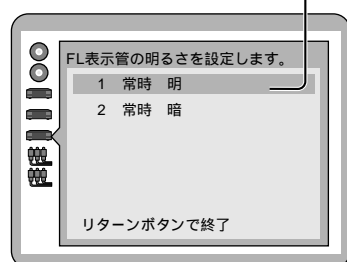
出荷時の設定

1 画面メッセージ
入／切

2 色と位置

1	青色	2	紫色	3	緑色
4	青色※	5	紫色※	6	緑色※

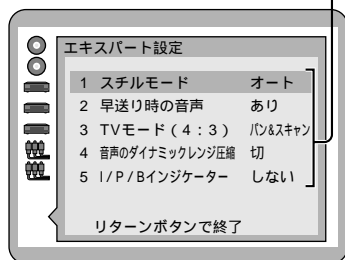
※表示画面の上端が欠けているときに選んでください。

FLディマー（設定方法☞ 29ページ）

表示窓の明るさを少し暗くできます。

1 常時 明：表示窓の表示を常に明るくする
2 常時 暗：表示窓の表示を常に暗くする

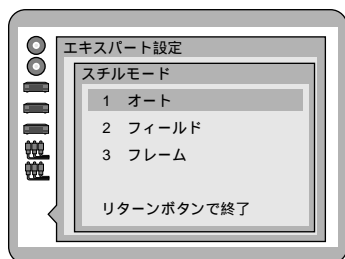
エキスパート設定（設定方法☞ 29ページ）

音声や映像について細かく設定ができます。詳しくは、33ページをご参照ください。

出荷時の設定

1 スチルモード：静止時のモードを選ぶ
2 早送り時の音声：
DVD／ビデオCDの早送り1速時に音声を出すかどうかを選ぶ
3 TVモード（4：3）：
標準サイズ（4：3）のテレビでワイドソフトを再生するときの画面を選ぶ
4 音声のダイナミックレンジ圧縮：
小さい音と大きい音の音量差を縮める（ドルビーデジタルで記録されたDVDのみ）
5 I／P／Bインジケーター：
静止時に画像の種類（I／P／B）を表示するかどうかを選ぶ（DVDのみ）

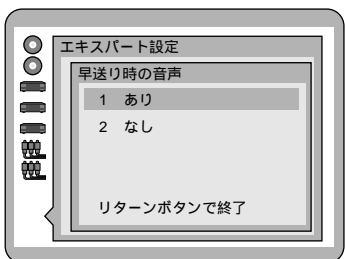
“ 早送り時の音声 ” について

- CDの場合は、設定に関係なく早送り／早戻し時にすべての速度で音が出ます。
- DTSで記録されたCDの場合は、設定に関係なく早送り／早戻し時に音が出ません。

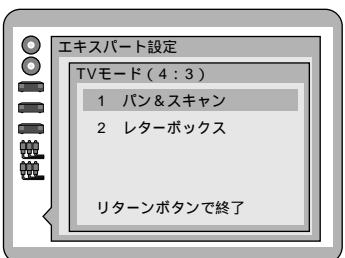
エキスパート設定の設定内容

■ **スチルモード**（「フレーム／フィールド」☞40ページ）

1 オート　：フレームで静止するかフィールドで静止するかを自動的に切り換える

2 フィールド　：常にフィールドで静止する（"オート"設定時に、画像のブレが発生するとき）

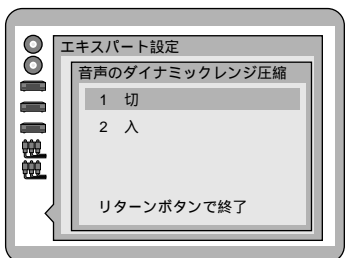
3 フレーム　：静止時に常にフレームが表示される（"オート"設定時に、小さい文字や細かい絵柄がはっきり見えないとき）

■ **早送り時の音声**

1 あり

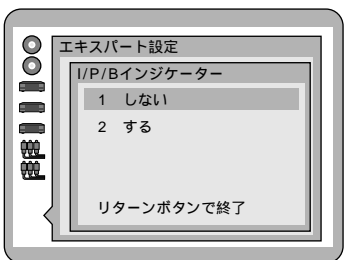
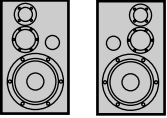
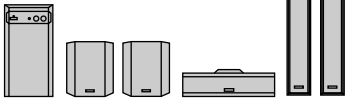
2 なし（"あり"に設定して音が気になるとき）

■ **TVモード（4：3）**

1 パン＆スキャン：両側または片側の切れた画面で再生

2 レターボックス：上下に黒帯の入った画面で再生

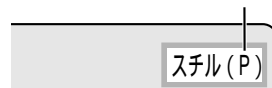
- ディスク側であらかじめパン＆スキャンやレターボックスが指定されているときは、その指定が優先されます。

■ **音声のダイナミックレンジ圧縮**（「ダイナミックレンジ」☞40ページ）

1 切

2 入（小音量でも聞き取りやすい音声で映画を楽しみたいときなど）

■ **I/P/Bインジケーター**（「I/P/B」☞40ページ）

1 しない

2 する　：静止時に画像の種類を表示

例） P-pictureのとき

スチル (P)

より迫力ある音声で楽しむ

以下のような組み合わせかたができます。くわしくは各ページをご参照ください。

こんなこともできます

MD やカセットテープに録音する（「アナログ録音」☞35 ページ／「デジタル録音」☞36 ページ）

接続の前に接続する機器と本機の電源を切り、それぞれの機器の説明書もご参照ください。

別売品のご紹介

別売品の品番は、2000 年 9 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

コード/ケーブル名	品番	
S 映像コード	RP-CVS0G10	(1.0 m)
	RP-CVS0G20	(2.0 m)
	RP-CVS0G30	(3.0 m)
	RP-CVS0G50	(5.0 m)
コンポーネントビデオコード	RP-CVPCG10	(1.0 m)
	RP-CVPCG20	(2.0 m)
	RP-CVPCG50	(5.0 m)
D 端子ピンケーブル	RP-CVCDG15	(1.5 m)
	RP-CVCDG30	(3.0 m)
音声コード	RP-CAP3G05	(0.5 m)
	RP-CAP3G10	(1.0 m)
	RP-CAP3G15	(1.5 m)
	RP-CAP3G20	(2.0 m)
	RP-CAP3G30	(3.0 m)
	RP-CAP3G50	(5.0 m)
	RP-CAP3G100	(10.0 m)
光デジタルケーブル	RP-CA2005A	(0.5 m)
	RP-CA2010A	(1.0 m)
	RP-CA2020A	(2.0 m)
	RP-CA2030A	(3.0 m)

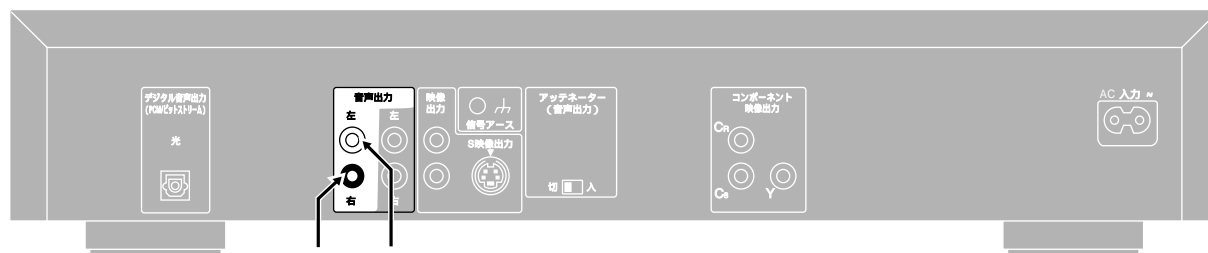
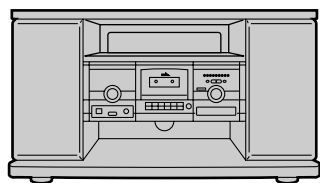
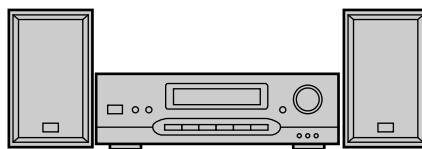
機器名	品番
カセットアンプスピーカーユニット	DY-KS350
AV アンプ（AV コントロールアンプ）	SU-DA10※
フロントスピーカー（L/R、左右一組）	SB-LV500
センタースピーカー	SB-C500
サラウンドスピーカー（L/R、左右一組）	SB-S500
サブウーハー	SB-AS30

※ 5.1ch 音声入力端子と Dolby Digital ／ DTS Digital Surround デコーダーを装備しています。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です

音のエチケット
シンボルマーク

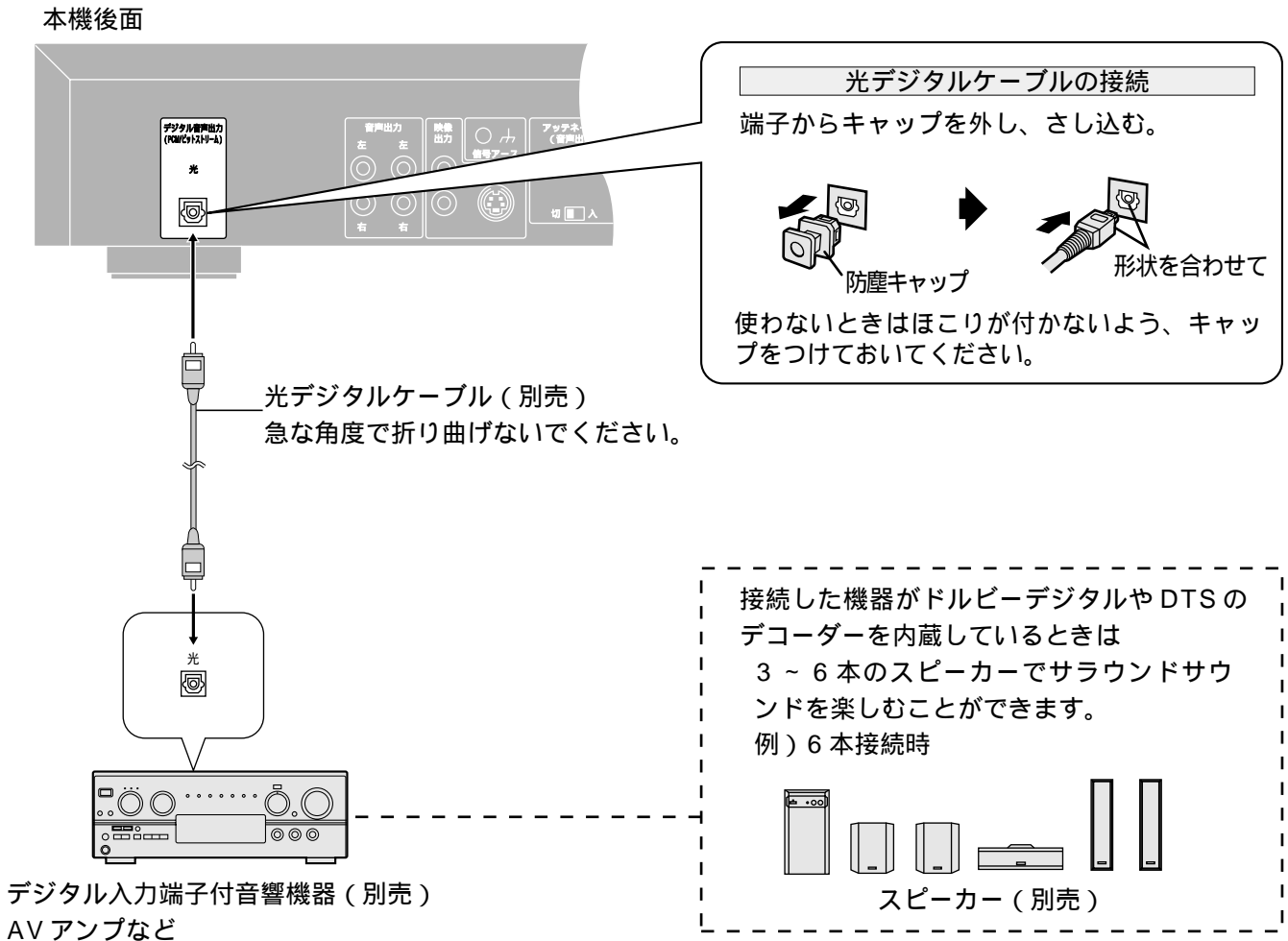
ステレオ音響機器とアナログ接続する

ドルビープロロジックのサラウンド効果を楽しむには(「ドルビープロロジック」☞40 ページ)
上記の接続例に加えて、センター、サラウンドのスピーカーが別途必要となります。接続した機器の説明書をご参照ください。また、この場合 V.S.S. (☞20 ページ) は、“ OFF ”(切)にしてください。“ 1 ”(標準)、“ 2 ”(強)に設定するとサラウンド効果が正しく働きません。

こんなこともできます **〜 MD やカセットテープに録音する(アナログ録音)〜**

上記の方法で MD デッキやカセットデッキと接続すると録音もできます。**(マイクで歌っている声も録音できます。)** ただし録音される音声はいったんアナログ信号に変換されたものになります。

音響機器とデジタル接続する

お知らせ

●マイクの音声はデジタル出力されません。

■接続が終了したら

接続した機器に合わせてデジタル出力の設定をしてください。（☞37 ページ）

こんなこともできます **～MD に録音する（デジタル録音）～**

上記の方法で MD デッキなどに接続すると、ディスクに記録されている音声をデジタル信号のまま録音することができます。**（マイクの音声は録音できません。）**ただしすべての信号がリニア PCM48 kHz ／ 16 bit 以下に制限されます。また、以下の条件が必要です。

- **［カラオケ］**を押してボタンを消灯させる
- ディスクに著作権保護の処理がされていない
- 録音側の機器がサンプリング周波数 48 kHz ／ 16 bit に対応している
- 本機のデジタル出力が以下のように設定されている（設定方法 ☞37 ページ）

“ PCM ダウンサンプリング変換 ”	：“ する ”
“ Dolby Digital ”	：“ PCM ”
“ DTS Digital Surround ”	：“ Off ”

デジタル出力の設定をする

準備

本機および接続した機器の電源を入れる。

お願い

デコーダーを持たない機器に接続する場合、“ Dolby Digital ” は “ PCM ” に、“ DTS Digital Surround ” は “ Off ” に必ず設定してください。
正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MD などに正しく録音できません。

＜ 96 kHz で記録された DVD を再生するときは＞
接続方法と設定値によって以下のような音声が出力されます。

接続方法／設定値	アナログ接続	デジタル接続
しない	96 kHz で出力	出力しない（著作権保護の処理がされていないディスクの場合は 96 kHz で出力※）
する	48 kHz に変換され出力	48 kHz ／ 16 bit に変換され出力

※ ただし 96 kHz の高音質でディスクを楽しむには、接続先の機器がサンプリング周波数 96 kHz に対応していることが必要です。

1 停止中

押して
初期設定画面を表示する

2

押して
“ デジタル出力 ” を選ぶ

3

押して
項目／内容を選ぶ

出荷時の設定

■ **設定内容**

＜ PCM ダウンサンプリング変換＞
リニア PCM96kHz で記録されたディスク再生時の出力
- **しない**：音声コードでアナログ接続したとき
- **する**：光デジタルケーブルでデジタル接続したとき
  著作権保護のため、出力は 48 kHz ／ 16 bit 以下に制限されます。

＜ Dolby Digital ＞
ドルビーデジタルで記録されたディスク再生時の出力
- **Bitstream**：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵する機器と接続するとき
- **PCM**：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき

＜ DTS Digital Surround ＞
DTS で記録されたディスク再生時の出力
- **Off**：DTS デコーダーを内蔵しない機器と接続するとき（デジタル信号を出力しません。）
- **Bitstream**：DTS デコーダーを内蔵する機器と接続するとき

4

押して
設定を終了する

■ **ひとつ前の画面に戻るには**
[リターン]を押す

画面に映し出される映像の横縦比

テレビに映し出される映像は、ディスクやテレビによって以下のように異なります。ソフトのジャケットやテレビの説明書もご参照ください。
※は、ディスクのジャケットに表示されているマークの一例です。

ディスク ＼ テレビ（画面モード）	標準サイズ	ワイドサイズ（フルモード）	ワイドサイズ（ズームモード）	ワイドサイズ（オートモード）
ワイド（パン&スキャン指定） ※ 16:9 PS	左右が切れる	フル画面	上下が切れる	フル画面
ワイド（レターボックス指定） ※ 16:9 LB	上下に黒帯が出る			
4 ： 3 ※ 4:3	フル画面	左右に伸びる	上下が切れる	フル画面（左右に黒帯）
4 ： 3［レターボックス（上下に黒帯）］ ※ LB	上下に黒帯が出る	左右に伸びる（上下に黒帯）	フル画面	両端が左右に伸びる（上下に黒帯）

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

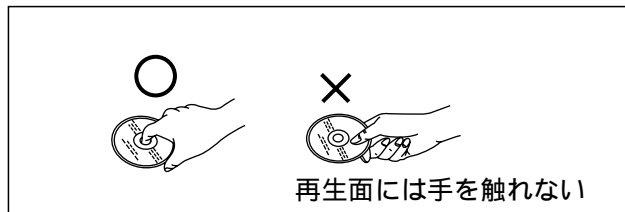
本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

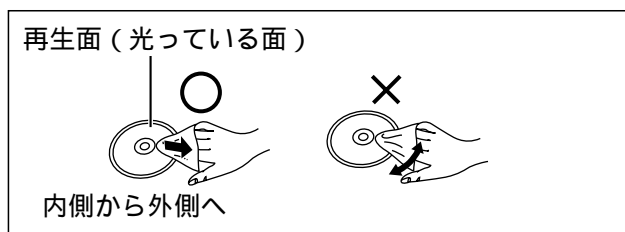
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権 1992 － 1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

「DTS」および「DTS ディジタルサラウンド」はDTS 社の商標です。

使用上のお願い・お手入れ

ディスクについて

■ 持ちかた

■ 汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■ 取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定以外の市販品は使わない。
- 紙やシール、ラベルを貼らない。
- シールやラベルがはがれかけたり、のりがはみ出しているディスクは使わない。
- 市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わない。

ディスクの保管

次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

お手入れ

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

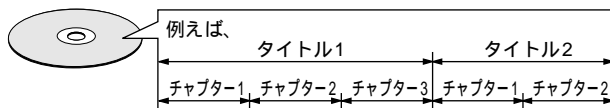
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

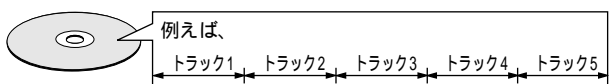
お知らせ

- 使用環境により異なりますがレンズのクリーニングは必要ありません。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

用語解説

場面（タイトル／チャプター）[DVD]

DVDは、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）に分けられており、それぞれの区切りの番号を、タイトル番号、チャプター番号と呼びます。

曲（トラック）[ビデオCD/CD]

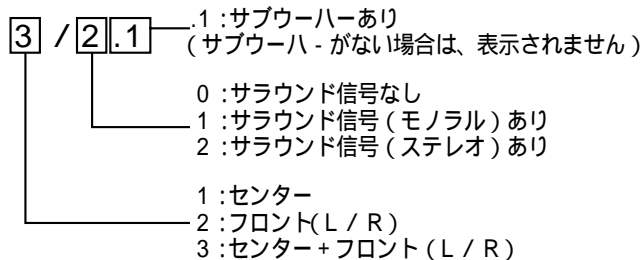
ビデオCDやCDは、いくつかの区切り（トラック）に分けられており、これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。

プレイバックコントロール

ビデオCDの再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。本書ではメニュー画面を使って再生することを、ビデオCDの「メニュー再生」と呼びます。

チャンネル（ch）

出力される音域や特性によって区別された音声の種類です。
例）5.1チャンネル

- フロントスピーカー **[L（1ch）／R（1ch）]**
- センタースピーカー **（1ch）**
- サラウンドスピーカー **[L（1ch）／R（1ch）]**
- サブウーハー **[1ch × 0.1※ = 0.1ch]**

※出力される音声全体に対して低音が占める割合
GUI画面では以下のように示されます。

リニアPCM（LPCM）

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。DVDは容量が大きいため、CD以上の精度でデータを収録することができます。
本機では、デジタル音声出力端子からのリニアPCM音声は2chで出力されます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2ch）はもちろん、最大5.1chのサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ドルビープロロジック

4チャンネル信号を2チャンネルに記録し、演算処理により、再び4チャンネルの独立した信号を再生するサラウンドシステムです。

DTS（Digital Theater Systems）

多くの映画館で採用されている最大5.1chのサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く情報量も多いので、リアルな音響効果が得られます。

Bitstream

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。デコーダーによって5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコード（復号）されます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

I／P／B

DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録しています。

I-picture：共用データの基準として単独で記録されるフレーム
P-picture：過去のI-pictureまたはP-pictureを元につくられるフレーム
B-picture：I／P両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

I-pictureの画質がもっとも良く、画質調整をするときは、I-pictureで静止することをお薦めします。

フレーム／フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム　**フィールド**　**フィールド**

 = +

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

光デジタル音声出力端子

電気信号を光信号に変えてアンプに伝えるので、外部からの電気的な影響による雑音を防ぐことができます。

Q ＆ A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
接続／設置について	**スピーカーを直接つなげるか**	本機には直接接続できません。AV アンプなどを通して接続してください。	35、36
	テレビに接続するだけでカラオケができるか	テレビのスピーカーを使う場合は、テレビに接続するだけでカラオケをお楽しみいただけます。	8
	S 映像入力端子とコンポーネントビデオ入力端子の両方があるテレビの場合、どちらに接続したらいいのか	コンポーネントビデオ入力端子に接続すると、DVD に記録されたままの状態で信号を出力するため、S 映像入力端子に接続した場合より、さらに忠実に色を再現します。より良い映像のためにはコンポーネントビデオ入力端子に接続することをお薦めします。	8
	D 映像入力端子とコンポーネントビデオ入力端子では、どちらが良いのか	DVD の再生という点では両者の性能に差はありません。他の機器との接続状況から、都合のいい方の端子をお使いください。	8
	LD と接続できるか	本機には接続できません。	ー
	コードレスのマイクは使えるか	本機はコードレスマイクには対応していません。	ー
	キーコントロール付マイクは使えるか	標準プラグ（M6）のものであれば接続はできますが、マイクのキーコントロールは働きません。本機で調節してください。	16
	引っ越しても使えるか	東日本、西日本に関係なく使えます。	ー
	海外でも使えるか	本機は日本国内専用です。海外では電源電圧などが異なるため使用できません。	ー
使いかたについて	**海外で買った DVD は再生できるか**	リージョン番号が**「ALL」**もしくは**「2」**を含んでいて、映像方式が NTSC であれば再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。	6
	海外で買ったビデオ CD は再生できるか	映像方式が NTSC であれば再生できます。	ー
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	DVD のリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていない DVD は再生できません。	ー
	CD-G は再生できるか	再生できません。ディスクを再生する前に、本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	6
	ビデオで録画できるか	ほとんどの DVD はコピー禁止処理がされており、録画できません。	ー
	カラオケ予約は 8 曲以上できないのか	リクエスト操作で“ ALL ”を選ぶとディスクの全曲が予約されます。	17
		ビデオ CD や CD は、プログラム操作で最大 32 曲まで予約できます。	18

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
電源について	**電源が入らない**	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	8
操作について	**各ボタン操作ができない**	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	10
		落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。電源を一度、「切」「入」してください。	―
	リモコンが働かない	乾電池の⊕⊖を正しく入れてください。 消耗している場合は新しいものに交換してください。	7
		リモコン受信部に向けて正しく操作してください。	7
	［再生］を押しても、再生が始まらない（または、すぐに停止する）	寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1～2時間放置してください。	―
		本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	6
		ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。	39
		ディスクを正しくセットしてください。	10
		初期設定“視聴制限”の設定を確認してください。	31
	音声／字幕言語が切り換えられない	複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。	―
		音声／字幕切り換え操作では切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります。	―
	字幕が出ない	字幕の入っていないDVDでは字幕が表示されません。	―
		字幕が“切”になっている場合は、字幕を“入”にしてください。	21
		A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	―
	アングルを変えて見ることができない	複数のアングルが記録されている場面（表示窓に“ANGLE ”が点灯）でのみ切り換えることができます。	―
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた **すべての設定を、工場出荷時に戻したい**	以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 **1** 停止中、本体の**[一時停止]**と**[|◀◀/◀◀]**を押しながらテレビ画面の“オールクリア”が消えるまで本体の**[開／閉]**を押す **2** 本体の電源を一度**「切」「入」**する	―
カラオケ操作について	**歌手の声が「切」にならない**	歌手の声が記録されている音声チャンネルが選ばれています。ディスクのジャケットを確認して、適切な音声チャンネルを選んでください。	15
	DVDカラオケ再生中に歌手の声が出ない	他の機器とデジタル接続しているときは、初期設定“デジタル出力”で、“Dolby Digital”を“PCM”に設定してください。	37
	カラオケソフトの再生中、1曲終わるたびにメニュー画面に戻る	カラオケソフトの大半は、選んだ曲が終わるとメニュー画面に戻るように制作されています。メニュー画面に「全曲再生」という項目がある場合、その項目を選ぶと、全曲が再生されます。	―
		リクエスト画面を表示し、“ALL”を選ぶと全曲が再生されます。	17

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
音声について	音声が小さい	カラオケボタン点灯時は全体の音量が少し小さくなります。カラオケをしないときは**[カラオケ]**を押してボタンを消灯させてください。	11
	音声が出ない	接続した機器の音量を確認してください。	—
		接続、設定を確認してください。	8、35、36、37
		接続した機器の入力切り換えは正しいですか？	—
	DTSの音声が出ない	本機のみではDTSの音声を出力することができません。DTSデコーダーやDTSデコーダーを内蔵したAVアンプに接続してください。	36
	特定のスピーカーから音が出ない	接続を確認してください。	35、36
	耳を刺激するような音が出る	他の機器とデジタル接続しているときは、初期設定“デジタル出力”で、接続した機器に応じて“Dolby Digital”や“DTS Digital Surround”を正しく設定してください。	37
映像について	早送り／早戻しをしたら画像が乱れる	多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。	—
	テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	接続を確認してください。	8
		テレビの電源は入っていますか？	—
		テレビの入力切換は正しいですか？	—
		初期設定“接続するTV”の項目は正しく設定されていますか？	9
		テレビ側の画面モードを変更してください。	38
表示について	表示窓に“NO PLAY”と表示する	再生できないディスクが入っています。	6
		初期設定“視聴制限”で再生を制限されているディスクが入っています。	31
	画面メッセージが出ない	初期設定“オンスクリーン”の“画面メッセージ”を“入”にしてください。	32
	GUI画面が欠ける（または表示されない）	初期設定“オンスクリーン”の“色と位置”でGUI画面の位置を変更してください。	32
	画面に“ディスクを確認してください”と表示する	ディスクがよごれています。	39
	表示窓に“H □□”と表示する（□□は数字）	異常が発生しました。（“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります。）電源を一度、「切」「入」してください。	—
	表示窓に“NO DISC”と表示する	ディスクが入っていません。	—
		ディスクが正しく入っていません。	—

■処置をされても表示が消えないときは

お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」（☞47ページ）に修理をご依頼ください。
その場合、画面や表示窓の文字をお知らせください。（例：“H01”の場合**「H01」**）

ご参考

各部のなまえ

（　）内は参照ページを表しています。

本体

[⏻/I 電源]ボタン（9、11）
[スキップ／サーチ]ボタン（11、13）
[キーコントロール]ボタン（16）
[開／閉]ボタン（11）
[カラオケ]ボタン（11、15）
ディスクトレイ（10）
[シネマ]ボタン（20）
表示窓(☞ 下記)
[V.S.S.]（バーチャル サラウンド サウンド）ランプ（20）
[エコー]つまみ（15）
[V.S.S.]ボタン（20）
[マイク 1、マイク 2]端子（15）
[停止]ボタン（12）
[一時停止]ボタン（12）
[マイク 1 音量、マイク 2 音量]つまみ（15）
[再生]ボタン（11）

表示窓

リモコン

スキップボタン（11、13）
[⏻ 電源]ボタン（9、11）
[停止]ボタン（12）
[トップメニュー] ボタン（11、14）
カーソルボタン [▲、▼、◀、▶]／
[決定]ボタン（11）
[画面表示] ボタン（25）
[カラオケ画面表示] ボタン（23）
[字幕] ボタン（21）
数字ボタン（11）
カラオケ操作ボタン
[リクエスト]（17）、[ガイドメロディー]
（17）、[ボイス]（17）、[模範歌唱選択]
（15）、[ワンタッチ]（16）
[初期設定] ボタン（9、29、37）
[リピートモード] ボタン（22）
スロー／サーチボタン（13）
[開／閉] ボタン（11）
[一時停止]ボタン（12）
[再生]ボタン（11）
[メニュー]ボタン（11、14）
[リターン]ボタン（9、11）
[キーコントロール]ボタン（16）
[アングル] ボタン（21）
[音声] ボタン（21）
[取消し]ボタン（15）
[シネマ] ボタン（20）
[V.S.S.]（バーチャル サラウンド
サウンド）ボタン（20）
[再生モード] ボタン（18）
[A-B リピート] ボタン（22）
電源
開/閉
スキップ
スロー /サーチ
停止
一時停止
再生
トップメニュー
メニュー
決定
画面表示
リターン
キーコントロール
低
標準
高
カラオケ
画面表示
字幕
音声
アングル
1
2
3
取消し
4
5
6
≧10
7
8
9
0
リクエスト
V.S.S.
シネマ
ガイド
メロディー
ボイス
模範歌唱選択
ワンタッチ
初期設定
リピートモード
A-Bリピート
再生モード

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■修理を依頼されるとき

42 ～ 43 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
  ただし、DVD/VIDEO CD/CD プレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
  注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

使いかた・お買い物のご相談は

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

フリーダイヤル（料金無料）　0120-878-365（パナは 365日）

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444　　**Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ **0570-087-087**（パナ　パナ）

●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
　呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
　（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

地区	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎ (0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎ (0138)48-6631

東北地区

地区	所在地	電話番号
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎ (017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎ (018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎ (019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎ (023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎ (0243)34-1301

首都圏地区

地区	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎ (028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎ (027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎ (029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎ (0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎ (055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-7725

中部地区

地区	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎ (076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎ (076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎ (0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎ (0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎ (054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎ (0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎ (058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎ (059)255-1380

近畿地区

地区	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎ (077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎ (075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎ (078)272-6645

中国地区

地区	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎ (086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎ (082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎ (0839)86-4050

四国地区

地区	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎ (088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎ (088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎ (089)971-2144

九州地区

地区	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎ (0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎ (0997)53-5101

沖縄地区

地区	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0900

主な仕様

電源	AC 100 V　　50／60 Hz
消費電力	10 W（電源「スタンバイ」時　約2 W）

外形寸法	430（幅）×273（奥行）×82（高さ）mm、突起物を含まず
質量	約2.9 kg
信号形式	NTSC
許容周囲温度	+5～35℃
許容相対湿度	5～90％RH（結露なきこと）
対応ディスク	（1）DVD－Videoディスク 8 cm／12 cm片面1層、片面2層、両面（各面1層） （2）コンパクトディスク （CD－DA、Video CD） 8 cm／12 cmディスク
映像出力	出力レベル　：1 Vp-p（75 Ω）
	出力端子　：ピンジャック
	端子数　：2系統
S映像出力	Y出力レベル　：1 Vp-p（75 Ω） C出力レベル　：0.286 Vp-p（75 Ω）
	出力端子　：S端子
	端子数　：1系統
コンポーネント映像出力	Y出力レベル　：1 Vp-p（75 Ω） C_B出力レベル　：0.7 Vp-p（75 Ω） C_R出力レベル　：0.7 Vp-p（75 Ω）
	出力端子　：ピンジャック （Y：緑　C_B：青　C_R：赤）

音声出力	出力レベル　：2 Vrms（1 kHz、0 dB、10　kΩ）
	出力端子　：ピンジャック
	端子数　：2系統
音声出力特性	（1）周波数特性 ● DVD（リニア音声） 4 Hz～22 kHz（48 kHzサンプリング） 4 Hz～44 kHz（96 kHzサンプリング） ● CD 4 Hz～20 kHz（EIAJ） （2）S／N比 ● CD 115 dB（EIAJ） （3）ダイナミックレンジ ● DVD（リニア音声） 102 dB ● CD 98 dB（EIAJ） （4）全高調波歪率 ● CD 0.0025 ％（EIAJ）
デジタル音声出力	出力端子： 光デジタル出力　：光コネクター
マイクロホン入力	入力端子　：標準ジャック（M6）
	端子数　：2系統

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

Panasonic　DVD/VIDEO CD/CD プレーヤー　DVD-RV35K　取扱説明書

愛情点検	長年ご使用のDVD/VIDEO CD/CDプレーヤーの点検を！	
	こんな症状はありませんか ● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある	**このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。**

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	DVD-RV35K
販売店名	☎（　）－	お客様ご相談窓口	☎（　）－

松下電器産業株式会社　デジタルAVネットワーク事業部

〒571－8505　大阪府門真市松生町1番4号

VQT8918
F1000YK0